

＜社 会＞

1 編集の具体的方針

(1) 各分野の分冊

地理	1	巻頭資料 1～5 「地理」教科書の使い方 地理にアプローチ 地図やグラフを読み取ろう 巻末資料 (※掲載順に注意) <u>日本の都道府県のあらまし</u> 世界の国々のあらまし 用語解説
	2	第1編 世界のさまざまな地域 第1章 私たちの地球と世界の地域構成 第2章 人々の生活と環境
	3	第3章 世界の諸地域 1 アジアの多様性と経済発展 2 アフリカの人々の暮らしとその変化
	4	第3章 世界の諸地域 3 統合を強めるヨーロッパの国々 4 世界に大きな影響力をもつ北アメリカ
	5	第3章 世界の諸地域 5 南アメリカの開発と環境 6 他地域と結びつくオセアニア 第4章 世界のさまざまな地域の調査
	6	第2編 日本のさまざまな地域 <u>第4章 身近な地域の調査</u> 第1章 日本の地域構成
	7	第2章 世界からみた日本のすがた
	8	第3章 日本の諸地域 1 九州地方 2 中国・四国地方
	9	第3章 日本の諸地域 3 近畿地方 4 中部地方
	10	第3章 日本の諸地域 5 関東地方 6 東北地方

地理	11	第3章 日本の諸地域 7 北海道地方
	12	発展的内容など 第1編のうち「地域から世界を考えよう」 折りこみ「地図を活用しよう」 第2編のうち「地理にアプローチ 日本の略地図を描こう」 「現代日本の課題を考えよう」
歴史	1・資料編1	<p>「歴史」教科書の使い方 第1章 歴史の移り変わりを考えよう 歴史にアプローチ</p> <hr/> <p>資料編1（巻頭資料・巻末資料等）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 巻末2～3 歴史年表 2 巻頭1～2 歴史のなかの言葉 3 巻頭3 歴史の学習を始めよう 4 巻頭4 プロローグⅠ 5 巻頭5 プロローグⅡ 6 巻末4 世界地図の歴史 7 巻末1 昔の国と、都道府県の対照表 8 巻末5～6 主な遺跡・史跡・できごと 9 巻末1 江戸時代の産業と交通 10 日本地図1 日本列島全体 11 日本地図2 本州東部・関東南部 12 日本地図3 西日本・畿内 13 世界地図1 2世紀ごろの世界（原典教科書23ページ） 14 世界地図2 8世紀ごろの世界（原典教科書33ページ） 15 世界地図3 13世紀ごろの世界（原典教科書55ページ） 16 世界地図4 16世紀ごろの世界（原典教科書93ページ） 17 世界地図5 列強による世界の分割（原典教科書172ページ） 18 世界地図6 第一次世界大戦中の世界（原典教科書197ページ） 19 世界地図7 東西陣営の対立（原典教科書240ページ）

歴史	2	第2章 原始・古代の日本と世界
	3	第3章 中世の日本と世界
	4	第4章 近世の日本と世界
	5	第5章 近代の幕開け
	6	第6章 近代の日本と世界
	7	第7章 二度の世界大戦と日本
	8	第8章 現代の日本と世界
	9 (資料編2)	資料編2 特設ページ 《24テーマ》
公民	1	「公民」教科書の使い方 第1章 私たちの暮らしと現代社会
	2	第2章 人間を尊重する日本国憲法
	3	第3章 私たちの暮らしと民主政治 1 民主主義と日本の政治
	4	第3章 私たちの暮らしと民主政治 2 司法権の独立と裁判 3 地方自治と住民の参加
	5	第4章 私たちの暮らしと経済
	6	第5章 安心して暮らせる社会
	7	第6章 国際社会に生きるわたしたち 終章 私たちにできること
	8 (資料編1)	学習資料編 1 日本国憲法 2 諸法令集 欧文略称
	9 (資料編2)	巻頭資料・巻末資料 1 巻頭1～2 動き続ける世界 2 巻頭3～4 公民の学習を始めるにあたって 3 巻頭5 とともに生きる社会をみざして 4 公民にアプローチ ～新聞を活用しよう 5 日本と世界の歩み(年表) 6 巻末1～2 未来へ歩み続ける人々 言葉で伝え合おう 《6テーマ》 読んで深く考えよう 《6テーマ》

(2) 各分冊の構成と順序

【地理】

① 分冊の基本的な構成と順序は次の通りとする。

<ul style="list-style-type: none">・表紙・目次・学習コラムの目次・（※1巻のみ）「地理」教科書の使い方、用語解説、統計資料など（上記「各分野の分冊」参照）・本文・学習コラム・資料（見てみよう・写真・表・グラフ・地図・図・読み解こう・ふりかえる）等・奥付
--

- ② 目次には、その巻に掲載する大単元名・中単元名・小単元名を示す。ただし、第1巻の目次には、他の分冊の大単元名・中単元名も記す。
- ③ 学習コラム（「地理の窓」）の目次には、その巻に出てくるもののみを掲載する。
- ④ 各章の冒頭については、掲載されている写真のタイトルのみ掲載する。
- ⑤ 小単元（原典教科書の見開き2ページ）については、「題名」「構成」「学習課題」「本文」「側注解説（関連する本文の直後に掲載）」「地理の窓」「資料（「見てみよう」「読み解こう」を含む）」「ふりかえる」の順に掲載することを基本とする。資料については、原典教科書に付されている番号順に掲載する。原典教科書の見開き2ページの右下にある「関連ページ」については削除する。
- ⑥ 「構成」については、「本文」「地理の窓」「資料」「見てみよう」「読み解こう」「ふりかえる」の各開始位置のページ数（下がり数字）・行数を掲載する。
- ⑦ 資料に関して、「見てみよう」はこれに対応する見るべき資料が複数ある場合を考慮し、当該の資料の直後に配置する。吹き出し等がある場合は資料との関連性を見ながら適宜順序を決めて配置する。また、「読み解こう」については、原則として関連する資料の直後に配置する。資料に番号が付されていない場合は、適宜順序を決めて配置する。
- ⑧ 「地理の窓」に関して、「資料」に該当するような内容が番号を付さずにおかれている場合があるが、これは「地理の窓」の一環として、「資料」とは別に取り扱う。
- ⑨ 第2編第3章「日本の諸地域」のうち、各節の冒頭に「日本の西南部／中央部／東北部」として示される地図は、その後の内容と重複する箇所が多いため割愛し、日本の7つの地方を学習する際に地方ごとに整理した。
- ⑩ （1）で示した通り、各分冊は原則として配置順に掲載したが、一部その順序を変えた個所がある。これは、当該内容の配本時期や実際の使用場面を考慮して決定したものである。
変更したものについて以下に示す。
- ア. 第1巻 本教科書の使い方と用語解説・統計資料を中心とした内容であり、普段使用する分冊と同時並行して授業で扱われるべき内容である。
- イ. 第6巻 早い時期に「身近な地域の調査」の学習を行うことに対応できるように、本巻冒頭にこの内容を置いた
- ウ. 第12巻 主として発展的な学習内容となる「地域から世界を考えよう」「現代日本の課題を考えよう」をまとめた。
- ⑪ 原典教科書の巻末にあるさくいは削除する。

【歴史】

① 分冊の基本的な構成と順序は次の通りとする。

- ・表紙
- ・目次
- ・学習コラムの目次
- ・（※第1巻のみ）「歴史」教科書の使い方
- ・本文・学習コラム・資料（写真・表・グラフ・地図・図・読み解こう・ふりかえる）等
- ・（※第1巻のみ）歴史にアプローチ
- ・（※第2～8巻）学習のまとめと表現
- ・奥付

② 目次には、その巻に掲載する大単元名・中単元名・小単元名を示す。ただし、第1巻の目次には、他の分冊の大単元名・中単元名も記す。

③ 学習コラム（「歴史の窓」）の目次については、その巻に出てくるものをまとめて掲載する。

④ 各章の冒頭については、掲載されている写真のタイトルのみ掲載する。

⑤ 小単元（原典教科書の見開き2ページ）については、「題名（時代スケール）」「構成」「学習課題」「本文」「側注解説（関連する本文の直後に掲載）」「歴史の窓」「資料」（「読み解こう」を含む）「ふりかえる」の順に掲載することを基本とする。資料については、原典教科書に付されている番号順に掲載する。

⑥ 「構成」については、「本文」「歴史の窓」「資料」「読み解こう」「ふりかえる」の各開始位置のページ数（下がり数字）・行数を掲載する。

⑦ 吹き出し等がある場合は資料との関連性を見ながら適宜順序を決めて配置する。「読み解こう」については、原則として関連する資料の直後に配置する。資料に番号が付されていない場合は、適宜順序を決めて配置する。

⑧ 『郷土の歴史を知ろう』『資料から歴史を探ろう』『地域から歴史を探ろう』『人物から歴史を探ろう』『世界から歴史を探ろう』については、原典教科書での配置を変更して第9巻（資料編2）に配置する。

⑨ 原典教科書の巻末にあるさくいんは削除する。

【公民】

① 分冊の基本的な構成と順序は次の通りとする。

- ・表紙
- ・目次
- ・学習コラムの目次
- ・（※1巻のみ）「公民」教科書の使い方
- ・本文・学習コラム・資料（見てみよう・写真・表・グラフ・地図・図・読み解こう・判例ファイル等）等

- | |
|---------------------|
| ・ 卷末資料：用語解説
・ 奥付 |
|---------------------|

- ② 目次には、その巻に掲載する大単元名・中単元名・小単元名を示す。ただし、第1巻の目次には、他の分冊の大単元名・中単元名も記す。
- ③ 学習コラム（「公民の窓」「クリップ」）の目次には、その巻に出てくるもののみを掲載する。
- ④ 各章の冒頭については、掲載されている写真のタイトルのみ掲載する。
- ⑤ 小単元（原典教科書の見開き2ページ）については、「題名」「構成」「学習課題」「本文」「側注解説（関連する本文の直後に掲載）」「クリップ」「公民の窓」「資料（見てみよう）」「読み解こう」を含む）」「ふりかえる」（または「章のねらい」）の順に掲載することを基本とする。資料については、原典教科書に付されている番号順に掲載する。原典教科書の見開き2ページの右下にある「学習パート」については削除する。
- ⑥ 「構成」については、「本文」「クリップ」「公民の窓」「見てみよう」「資料」「読み解こう」「ふりかえる」の各開始位置のページ数（下がり数字）・行数を掲載する。
- ⑦ 資料に関して、「見てみよう」がある場合は1つ目の資料の前に配置する。吹き出しがある場合は資料との関連性を見ながら適宜順序を決めて配置する。また、読み解こうについては、原則として関連する資料の直後に配置する。資料に番号が付されていない場合は、適宜順序を決めて配置する。
- ⑧ 『言葉で伝え合おう』『読んで深く考えよう』については、第9巻（資料編2）にまとめて掲載する。「題名」「本文」「クリップ」「資料」「さらにステップアップ」の順に掲載することを基本とするが、資料については本文との関連性を考慮して本文の途中に掲載することがある。
- ⑨ 『用語解説』については、その巻に出てくる用語について掲載する。
- ⑩ 原典教科書の巻末にあるさくいんは削除する。

(3) レイアウト

全体に関わるレイアウトについては原則として次の通りとする。

- ① 大単元（章名）を9マス目から記す。次の行を空行とする。
- ② 中単元の題名を7マス目から記す。番号の後2マスあける。番号には記号を付さない。次の行を空行とする。
- ③ 小単元の題名を5マス目から記す。番号は1. 2. …のようにピリオドをつける。副題は棒線（②⑤②⑤）で開き、棒線で閉じる。次の行を空行とする。
- ④ 構成については、5マス目から「構成」と記し、その次の行の3マス目から、「本文の見出し名」「地理の窓等の学習コラム名」、「資料番号とその種別」「見てみよう」「読み解こう」「ふりかえる」等の項目名と、掲載ページ・行数を目次の形式で記す。ページは下がり数字で示す。次の行を空行とする。
- ⑤ 学習課題については、5マス目から「学習課題」と記す。その次の行の3マス目から内容を記す。次の行を空行とする。
- ⑥ 本文の見出し名を5マス目から記す。本文は3マス目から記す。次の行を空行とする。

- ⑦ 側注解説については、関連する本文の後、次の行に5マス目から「—— 注 ——」と記し、その次の行から記す。次の行を空行とする。
- ⑧ 学習コラム（地理の窓・歴史の窓・公民の窓・クリップ）・資料（写真、イラスト、表、グラフ、地図、図など）等は枠囲みし、本文と区別できるようにする。次の行を空行とする。
- ⑨ 枠囲みをする際、囲みを開く枠線の5マス目から「地理の窓」「1 写真」などのように項目名を記す。題名を次の行の7マス目から記す。
- ⑩ 枠囲みをする資料で原典教科書の資料種別を変更した場合は、「1 表（グラフ）」のように、点字教科書における種別を書いた後、原典教科書の種別を丸かっこ内に示す。なお、資料番号の後は1マスあけとする。
- ⑪ 「見てみよう」「読み解こう」「ふりかえる」については、5マス目から「見てみよう」「読み解こう」「ふりかえる」と記し、次の行の3マス目から内容を記す。「ふりかえる」については、「ステップ1」、小見出し符、内容というように記す。次の行を空行とする。
- ⑫ 吹き出し等キャラクターの発話については、3マス目から発話者の名前を記し、その後2マスあけて発言内容を第1カギで囲む。一つまたは連続する発話の前後を1行あける。
- ⑬ 「・○○○」等の箇条書きについては、原則として「1. ○○○、2. ○○○、3. …」のようにピリオドを付けて番号を付す。下位項目がある場合は「ア. ○○○、イ. ○○○、ウ. …」とする。
- ⑭ 小単元の終わりに終止線（②の点）を入れる。
- ⑮ 地理の第1巻、公民の巻末にある用語解説については、枠囲みせず、7マス目から用語解説と記す。次の行を空行とし、その次の行の3マス目から用語を記し、小見出し符に続けて解説を記す。
- ⑯ 目次の終わりに終止線（②⑤の点）を入れる。
- ⑰ 原典教科書の該当ページの番号は、点字教科書のページ行に「メの字」で挟んで左側に記す。その際、原則として小單元ごとの見開きページの番号を記す。

（4） 位置を示す表現

- ① 「上（下）の～」や「右（左）の～」という原典教科書の紙面上での位置を示す表現は、「p○○の～」または「次の～」などのように点字教科書中の位置に合わせた表現に修正する。
- ② 原典教科書において位置を示す表現がない場合でも、点字教科書中で図やグラフ等の参照ページを書き加えることが効果的な場合はその都度指示する。
- ③ 「本文」等で、図表等のページ・行数を示す場合、ページ数のみであれば p○○・p○○～○○とする。行数を示す場合は、「1○○」「1○○～○○」と記す。

（5） 本文の取り扱い

- ① 太字で示された語句については、第1指示符で囲む。
- ② クォーテーションマークは第1カギとする。
- ③ 側注解説については、本文の見出しが変わるごとに1から番号を付す（原典教科書と番号が一致しない箇所もある）。1つしか無い場合は番号は付さない。

- ④ 特定の用語を参照するために、原典教科書の本文中で用語の下に書かれている（p. ○○→、←p. ○○）については削除する。
- ⑤ 地理・公民の「用語解説」に掲載されている用語については、本文中に「ヨ一」を文中注記符で囲った記号を当該の用語に前置する。当該の用語の解説が書かれている場所は、「注」を各位置に「ヨ一」を文中注記符で囲み、1マス空けてページ・行数を書くことで示す。ページ数は下がり数字とする。なお、地理では第1巻「用語解説」にすべての用語を五十音順に掲載する。また、その後にテーマ別にした用語とその解説があるページをリストにし掲載する。公民では、「用語解説」を該当巻の巻末に掲載する。歴史には「用語解説」は無い。
- ⑥ 本文に付されている参照資料の番号については削除する。
- ⑦ 吹き出しのキャラクターの名前は、第1巻の「教科書の使い方」で紹介されたものを用いる。ただし、紹介のないキャラクターは「生徒」、「先生」などのように適宜記す。また、先生は男女の区別をしないで記す。
- ⑧ 「学習のまとめと表現」などで、文字数を指定して答えさせる課題は、原典教科書の指定文字数を約2倍し、点字のマス数に置き換えることとする。
- ⑨ アルファベットの略称については、アルファベットの表記の後、読み方を括弧書きで示す。

(6) 写真・絵・イラストの取り扱い

- ① 原典教科書にある写真等については削除するが、タイトルのみ、または、タイトルと説明文をできる限り掲載する。写真等のタイトルは7マス目から、説明文はその次の行の3マス目から記す。
- ② 写真等のタイトルや説明文について、原典教科書の表現では不足する視覚的情報等を補うために、適宜表現を修正することがある。また、写真等の説明文が原典教科書にない場合、必要に応じて新たな説明文を追加することがある。
- ③ 写真等のタイトルが原典教科書にない場合は、適宜タイトルを付ける。
- ④ 原典教科書の表紙にある写真については削除する。

(7) 表の取り扱い

- ① 表のタイトルを7マス目から記す。
- ② 表の説明や注釈、凡例等がある場合は、5マス目から「表の説明」と記し、その次の行から説明等を記す。
- ③ 表が始まる前は1行空ける。
- ④ 数値は桁揃えとする。
- ⑤ 触察による読み取りの際の利便性・効率性を高めるため、折込みにしたB4の用紙に表を記す場合がある。

(8) グラフの取り扱い

- ① 原典教科書にあるグラフについては、点図化、数表化、数表と点図の併記、文章化の処理を行う。

- ② 点図にするかどうかの判断は、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、全体的な点図の枚数等を総合的に考慮して行う。
- ③ グラフのタイトルを7マス目から記す。
- ④ グラフの説明や注釈、凡例等については、5マス目から「グラフの説明」と記し、その次の行から説明等を記す。
- ⑤ 原則としてグラフの説明や凡例を先に記し、次にグラフを示す。グラフの説明や凡例のみを枠囲みする。
- ⑥ グラフの説明や凡例を左ページに、グラフを右ページに配置し、できるだけ見開きとなるようにする。
- ⑦ 紙面の限界から、ページを縦長ではなく横長にしてグラフを掲載することがある。その場合、ページの左上に（横書き）と記す。
- ⑧ 棒グラフでは、原典教科書では縦棒になっているものを点図では横棒にするなどの修正を行う場合がある。
- ⑨ グラフ中の項目はできるだけ省略しないことを原則とする。省略する場合は原則として連想しやすい表記とし、正式な名称を凡例で示す。
- ⑩ グラフの数値の読み取りを容易にするための目盛り線を凹点で表す。
- ⑪ グラフを数表化する場合、枠囲みに記す種別を「表（グラフ）」とし、原典教科書ではグラフとなっていることを示す。同様に、数表とグラフの併記にする場合、枠囲みに示す種別を「表・グラフ（グラフ）」のようにする。

（9） 地図の取り扱い

- ① 原典教科書にある地図は、点図またはサーモフォームによる触図化、数表化、文章化の処理を行うか、削除する。
- ② 点図にするかどうかの判断は、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、全体的な点図の枚数等を総合的に考慮して行う。
- ③ 地形の高低差を表す必要がある場合は、サーモフォームによる触図化を行う場合がある。
- ④ 地図のタイトルを7マス目から記す。
- ⑤ 図の説明や注釈、凡例等については、5マス目から「図の説明」と記し、その次の行から説明等を記す。
- ⑥ 原則として図の説明等を先に記述し、次に地図を示す。図の説明等までを枠囲みする。
- ⑦ 図の説明等と地図ができるだけ見開きとなるようにする。
- ⑧ 紙面の限界から、ページを縦長ではなく横長にして地図を掲載することがある。その場合、ページの左上に（横書き）と記す。
- ⑨ 地図の範囲を表すために、地図の周囲を枠線で囲むことを原則とする。紙面の都合上、枠線で囲むことが困難な場合は省略することがある。
- ⑩ 地図中の地名等は省略しないことを原則とする。省略する場合は連想しやすい表記を原則とし、正

式な名称を凡例で示す。

- ⑪ 陸地と海の区別を容易にするため、地図中の海を原則として凹点で表す。
- ⑫ 地図中の縮尺表示は、地図の意図する位置関係に主眼を置くため、原則として省略する。
- ⑬ 点図化する際の技術的な限界や、触覚的理解の困難さを考慮し、図の簡略化やデフォルメを行う場合がある。
- ⑭ 地図を表や説明にする場合、枠囲みに記す種別を「表（地図）」「説明（地図）」とし、原典教科書では地図となっていることを示す。
- ⑮ 触察による読み取りの際の利便性・効率性を高めるため、折込にした B4 サイズの用紙に点図を示す場合がある。また、位置関係の把握を促すために、注目すべき部分を拡大・縮小した地図を追加する場合がある。

(10) 図の取り扱い

- ① 原典教科書にある図は、点図による触図化、数表化、文章化の処理を行うか、削除する。
- ② 点図にするかどうかの判断は、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、全体的な点図の枚数等を総合的に考慮して行う。
- ③ 図のタイトルを 7 マス目から記す。
- ④ 図の説明や注釈、凡例等については、5 マス目から「図の説明」と記し、その次の行から説明等を記す。
- ⑤ 原則として先に説明や凡例を記述し、次に図を示す。図の説明等までを枠囲みする。簡易な図の場合は、説明や凡例がないこともある。
- ⑥ 説明と図ができるだけ見開きとなるようにする。
- ⑦ 紙面の限界から、ページを縦長ではなく横長にして図を掲載することがある。その場合、ページの左上に（横書き）と記す。
- ⑧ 図の範囲を表すために、図の周囲を枠線で囲むことがある。
- ⑨ 図中の名称等は省略しないことを原則とする。省略する場合は連想しやすい表記を原則とし、正式な名称を凡例で示す。
- ⑩ 点図化する際の技術的な限界や、触覚的理解の困難さを考慮し、図の簡略化やデフォルメを行う場合がある。

(11) 「2. 編集の具体的内容」の備考欄における記載事項

- ① 触覚による把握：触覚によって理解することが可能なグラフ、地図、図について、点図やサーモフォームによる図を掲載する。
- ② 理解のしやすさ：点図化が困難なため削除した写真、絵、図、グラフについて、生徒の理解を促すため文章化や数表化して掲載する。
- ③ 指導者による補足：写真、絵、図、グラフを削除した場合は、指導者による補足説明を授業の中で行うことが望ましい。

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	巻頭 1 巻頭 2	写真	修正	巻頭の10枚の写真については、タイトルのみを残し、写真と国旗の絵は削除した。	理解のしやすさ
	巻頭 3 巻頭 4	写真	削除	「地理の学習を始めよう」の本文以外の写真については、見て判断する教材であり、また本項目の本質的な学習内容と異なることから、削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	巻頭 5		削除 修正	「点字のしくみ」について、「触れて読み地図を知っていますか？」は生徒にとっての使用文字であるので、流れを損なわないように次のように修正した。 「点字とは、(中略)組み合わせて配置することで、文字を表現します。」 6点を示した図は削除した。	理解のしやすさ
	4		整理 修正	「本文ページの見方・使い方」について本文中の掲載順にあわせ、以下の順に並べた。 「章のタイトル」→「学習課題」→ 「参照ページ」→「資料ナンバー」→ 「読み解こう」→「地理の窓」→ 「ふりかえる」→「導入資料・中心資料」 →「側注解説」→「関連ページ」 「スキルをみがくコーナー」「学習コラム」のもくじは、当該項目掲載巻の「巻数」のみ掲載した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	6	図	削除 修正	①「地図の決まりを思い出そう」は以下のように修正した。 【方位に関して】 吹き出し「矢の先が『北』を…」とその図は、本文と重複するので削除した。 「16方位を示した図」は点図化した。 なお、空欄部分についても方位を補記した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	6	記号		【地図記号に関して】 「風車」「老人ホーム」の地図記号は、点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	7	図	削除	②「地図の種類を知ろう…」については、「一般図」「主題図」およびそれに関わる、あすかとなおきの言葉は、別項(原典教科書P.142など)で詳細に学習できるため、本欄では削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	7	図	削除	③「地図を作ってみよう…」に関して多摩市の絵地図は削除した。	理解のしやすさ
	8	地図	修正	④「地図の使い方を覚えよう…」 本欄での2枚の地図は、ともに項目の整理などを行い、触読可能な形で点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
8	地図	修正	⑤「地図帳を使ってみよう…」に関して地図帳のさくいんを使う項目については、四国地方の部分に特化し、配列を簡素化した。 (横2マス×縦2マス) 地図に合わせて例題も変更した。	理解のしやすさ 触覚による把握	

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	9	グラフ	修正	⑥「グラフの種類を思い出そう…」に関して、本欄で取り上げている3枚のグラフ（帯グラフ・円グラフ・折れ線グラフ）は、可能な限り要素をそのまま点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	10	グラフ	削除修正	⑦グラフを作ろう…に関して点字使用生徒が書き込むグラフを作るとは困難なため、以下のように修正した。 ・1930年と2011年の2枚の人口ピラミッドのグラフは「完成した状態」のものを掲載し、数値も併記した。 ・本文と課題文を以下のように変更した。 （※本文文末）…変化していくかということなどもわかります。数値からグラフを自分で作ることもできます。 （※課題文） 「1930年と2011年の人口の割合の数値を読み、〇〇ページの2つの人口ピラミッドを確認して、日本の人口の変化について考えてみましょう ①5歳ごとの人口に占める割合を確認して、人口ピラミッドを読みましょう。 ②人口ピラミッドを読み、日本の人口構成は以前と比べて、どのように変化したのか話し合ってみましょう。」	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	11	地図	修正削除	地図「世界の大陸と州による地域区分」を、内容から以下の3枚にして点図化することとした。 「世界の6大陸と3海洋」 「世界の6つの州」 「アジアの5区分図」	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	12	図	修正削除	資料「世界の国からこんにちは！」は（例）フランス「ボンジュール」のように、国名→「挨拶」の順で記入し、現地語の表現と地図は削除した。	理解のしやすさ
	13	地図	修正	②地図「世界の6大陸と3海洋」は、P. 11の図を基図とし名称を空欄で表した。	触覚による把握 指導者による補足
	13	グラフ	修正	③グラフ「海洋と陸地の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	14	地図	修正	①「国際連合発足時の加盟国」は、加盟国を3つの時期に分けて数表化した。	理解のしやすさ
	14	グラフ	削除補足	②「国連加盟国数の変化」は、グラフを削除し、数表化した。	触覚による把握 指導者による補足
	14	地図	削除	③「面積の小さな国々の例」は地図を削除し、表中以下の文章を追加した。「面積の小さな国と、その国の値に近い日本の島や施設を比べられるように示した。」	理解のしやすさ 指導者による補足
	15	図	削除修正	④「人口を面積に置き換えて示した…」は数値化し、日本を1とした時の大きさを示した。	理解のしやすさ 指導者による補足
地理	15	グラフ	修正	⑤「世界の州別の人口割合」は、数表化して示した	理解のしやすさ 指導者による補足

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
	15	地図	削除	⑥「アメリカ合衆国に…」の図は、理解のしやすさを考慮し、図を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足 点字地図や地球儀などで比較したり、巻末資料で面積の数値を比較したりすることが望ましい。
	16	図	修正	①「国名の成り立ちの例」は、6地域、50音順の表で示し、図を削除した。	理解のしやすさ
	17	国旗	削除 修正	④「世界のさまざまな国旗」については、地図は削除し国旗の形状について、以下の順で図にして示した。 イギリス→フィンランド→日本→ オーストラリア→カナダ→アメリカ→ ソ連とロシア→南アフリカ→三色を使った国旗	触覚による把握 指導者による補足 触覚による把握 理解のしやすさ
	18	図	修正	②「緯線・緯度」と③「経線・経度」は、それぞれ一体として扱えるように点図化した。	
	19	図	削除	⑤「日本と同じ経度・緯度を示した…」は地図を削除し、数表化した。	触覚による把握 指導者による補足 なお各都市の位置は、点字地図帳などを用いて確認することが望ましい。
	19	図	削除	「地理の窓」の地図（2枚）を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	20	地図	修正	①「地球儀を切り開いてみると…」は地球儀を切り開いた形のみを点図化し、それに伴いかずやの言葉を以下のように修正した。 「（前略）…切れてしまって見にくくなってしまおうね…」	触覚による把握 理解のしやすさ
	20	図	修正	③「国際連合のマーク」については、マークとして判別できる程度に点図化を行った	触覚による把握 理解のしやすさ
	20	地図	修正	④「面積が正しい地図」 ⑤「中心からの距離と方位を正しく表した地図」 ⑥「緯線と経線が直角に交わった地図」 以上3枚の地図は、一体的に比較できるようにそれぞれ点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	21	作業	修正	「地理にアプローチ：地球儀と世界地図の違いを知ろう」：作業内容を次の通り修正した。 （1）（前略）…オーストラリアとグリーンランドの大きさを確認し、同じくらいの… （2）地球儀上でグリーンランドの大きさを確認し、同じくらいの面積の国々を調べよう （3）世界地図の中の、赤道の位置を比べよう	理解のしやすさ 指導者による補足

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	22	図	修正	簡単な描き方の例を修正し、図を描くことをイメージしやすいように配慮した。 「ポイント」は、以下のように修正した (2) 位置関係をはっきりさせるには、赤道、本初子午線、180度の経線を確認するといいでしょう。	理解のしやすさ 指導者による補足
	23	地図	削除	「世界の気候帯の分布」の図は、改めて本性の各項で取り上げるため、削除した。	理解のしやすさ
	23	グラフ	修正 削除	本ページに出てくる気温と降水量のグラフは、重複を避けるため「東京」については削除し、他の2都市（尾鷲、チェラブンジ）のみを点図化した。東京はP.24①で示した。なお、このページのチェラブンジのグラフも、点図では1ページに収まるように示している。 なお、本章において気温と降水量のグラフで取り上げられる地点が属する国は、地図で図示する代わりに「地点名（国名）」のように各図に示しているので留意のこと。また南半球の地域については一年間の最低気温の月に補助線を入れた。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	24	グラフ	修正	①「気温と降水量のグラフ」は、東京、オイミヤコンの順に気温と降水量のグラフを点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	25	グラフ	修正	③「大陸別にみる気候帯の面積の割合」については、数表化した。	理解のしやすさ
	26	図	削除	マレーシアの位置を示す地図は、「地図帳で確認しよう」と記述して削除した。以下、本章の各ページの国の位置を示す地図も削除している。	理解のしやすさ 指導者による補足 点字地図帳等で確認することが望ましい。
	27	地図 グラフ	修正	③「熱帯の気候分布」、「各地の気温と降水量」は気候分布の地図を日本中心の地図として点図化し、ダーウィン、クアラルンプールの気温と降水量のグラフを点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	28	図	削除	マレーシアの位置を示す地図は、「地図帳で確認しよう」と記述して削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	29	地図 グラフ	修正	③「乾燥帯の気候分布」「各地の気温と降水量」は気候分布の地図を日本中心の地図として点図化しアリススプリングス、カイロの気温と降水量のグラフを点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	30	図	削除	ギリシャの位置を示す地図は、「地図帳で確認しよう」と記述して削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	31	地図 グラフ	修正	③「温帯の気候分布」「各地の気温と降水量」は気候分布の地図を日本中心の地図として点図化しパース、パリ、シャンハイの気温と降水量のグラフを点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	32	図	削除	カナダの位置を示す地図は、「地図帳で確認しよう」と記述して削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	33	地図 グラフ	修正	③「冷帯・寒帯の気候分布」「各地の気温と降水量」は気候分布の地図を日本中心の地図として点図化しイルクーツク、バロー、昭和基地の気温と降水量のグラフを点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	34	図	削除	ペルー・ボリビアの位置を示す地図は、「地図帳で確認しよう」と記述して削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	35	地図 グラフ	修正	③「高山気候の分布」、「各地の気温と降水量」は気候分布の地図を日本中心の地図として点図化しラサ、ラパスの気温と降水量のグラフを点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	36	グラフ	削除	③「世界の主な言語別の人口」は数表化した。	理解のしやすさ
	37	地図	削除 修正	④「世界の共通語・公用語」は広がっている地域についての説明文に変更した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	39	グラフ	修正	③「世界に見る宗教別の人口割合」は、円グラフで示した。	触覚による把握 指導者による補足
	39	地図	修正	④「世界の主な宗教の分布」は把握しやすい形で点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	40	地図 文章	削除 修正	1「地図を使って確かめよう」について、地図は削除した。また、文章を次のように修正した。 ①「次のa、bの特色を持つ気候の名前を確認し、教科書にある地図でその地域の広がりを確認しよう」 ②「次の表を読み、A～Dの都市について、その国名とその国で主に信仰されている宗教をノートにまとめよう。また、それぞれの都市の位置を地図帳で確認しよう。」 (※その他の内容については原典教科書と同じ)	理解のしやすさ 指導者による補足
	40	グラフ 文章	削除 修正	2「表現しよう」の①におけるグラフは再掲となるため、6都市の参照ページを示し、本ページでの気温と降水量はグラフは削除した。また、文章を以下のように修正した「次の6つの都市の気温と降水量のグラフ同士を比べて、東京の気候の特徴を…」	理解のしやすさ 指導者による補足
	41	写真	削除	写真を削除した。右のように指導者による補足をしてほしい。	指導者による補足 ①～④については写真の食事風景の様子、地域による食べ物の違いなどについて読み取れる内容を触れるよう、必要に応じて補足をしてほしい。

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	42	地図	削除修正	①「アジアの地勢と国々」について、次の2点を削除、修正した。 ア. 地図の欄外上の一文（気温と降水量のグラフに関すること）は削除した。今後も同様に取り扱う。 イ. 本図は、「地勢編」と「国々編」2枚に分けた。地図中の首都名を地図中から削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	指導者による補足 （地図の国名の一部を省略したので、位置については地図帳の確かめなどで補うようにする。）
	42	吹き出し	修正	あすかの文章を次のように修正した。 「〇〇ページの2. 地図と比べて、東アジア、東南アジア、中央アジア、西アジアの境界線を確認しよう。」	理解のしやすさ
	43	グラフ	削除修正	③「アジア各地の気温と降水量」のグラフ3枚は点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	43	地図	削除修正	④「アジアの年間降水量」は点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	43	グラフ	削除修正	⑤「面積と人口の州別割合」の帯グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	44	地図	修正	①「中国の人口密度の分布」の人口密度は点図化し、「400人以上」「10人～400人未満」「10人未満」に区分した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	44	地図	修正	②「中国の民族の分布」の図は点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	44	吹き出し	修正	かずやの文章を次のように修正した。 「1. と2の地図をくらべると、どんなことがわかるかな。」	理解のしやすさ
	45	地図	削除修正	「中国の農業分布」を「中国の農業分布」と「その他の農産物と降水量」の2つの点図に分けた。	理解のしやすさ 触覚による把握
	46	グラフ	削除修正	③「主な電子機器の生産に占める中国の割合」の円グラフは数表化した。	理解のしやすさ
	47	地図	修正	④「中国の鋳工業」の分布図は、要素を整理して点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	47	グラフ	修正	⑤「中国の都市と農村における冷蔵庫・携帯電話の普及」の折れ線グラフを縦長にデフォルメして表した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	48	グラフ	削除修正	③「造船業（生産量）と電子部品（輸出額）の国別割合」の円グラフは数表化した。	理解のしやすさ
	48	グラフ	修正 削除	④「韓国の国内総生産（GDP）の変化」の棒グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	49	グラフ	削除修正	⑥「ソウルの人口の変化」の折れ線グラフは、万単位の概数で数表化した。円グラフは、「総人口4,858万人のうちソウルは20.2%」と文章化した。	理解のしやすさ

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	49	地図	削除 修正	⑦「朝鮮半島の人口密度の分布と主な都市」は「朝鮮半島の人口密度の分布」の点図と「朝鮮半島の主な都市の人口」の数表化した。 「朝鮮半島の人口密度の分布」は点図化の際、人口密度の「500人以上」、「200人～500人未満」、「200人未満」に区分した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	50	地図	削除 修正	③「東南アジアの農業分布」は、水田、畑と草地、森林、天然ゴムに区分した。油やし・ココやし・さとうきび・コーヒー・茶・バナナ・こしょうは削除した。	指導者による補足 理解のしやすさ 触覚による把握
	50	グラフ	削除 修正	④「タイとマレーシアの輸出品の変化」の円グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	51	地図 グラフ	削除 削除	⑥「東南アジアの宗教」は、円グラフの6カ国について、数表化した。地図にある他の国については削除したため、指導者が説明を行うこと。	理解のしやすさ 指導者による補足
	52	地図	削除 修正	②「南アジアの農業分布」については、「稲作、小麦、森林」と「綿花、ジュート、茶」の2枚に分けて点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	52	地図	削除 修正	③「綿花とジュートの国別の生産割合」については、数表化した。	理解のしやすさ
	53	地図	修正	⑤「南アジアの鉱工業」は、デリー、ムンバイ、コルタカ、ダッカ、バンガロール、チェンナイの各都市に対応する主な工業を示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	54	写真	削除 追加	①「宇宙からとらえたドバイ」に次の説明を追加した。「海に人口島が浮かんでいるようす」	理解のしやすさ
	54	グラフ	削除 修正	「原油の生産量と確認埋蔵量の国別の割合」の円グラフは数表化した。	理解のしやすさ
	55	地図	削除 修正	④「世界の主な油田と原油輸出の流れ」の地図の要素のうち「原油の移動」は数表化し、「8000万t以上、5000万t～8000万t未満、1000万～5000万t未満」の区分で、輸出元から輸出先で表した。地図は、「世界の主な油田」とし、数表と2枚に分けて点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	56	地図	削除	1「地図を使って確かめよう」の地図は、原典教科書42ページの地図を参照することとした。	理解のしやすさ
	56	文章	修正	本ページの文章を次のように修正した。 1 地図を使って、場所を確かめよう。 1. ○○ページの地図を使って場所を確かめよう。 ア. アラビア半島 イ. インドシナ半島 ウ. ウラル山脈 エ. ガンジス川 オ. チベット高原 カ. チャンチャン キ. ヒマラヤ山脈 ク. ホワンホー	理解のしやすさ

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	56	文章	修正	1 ②の文章を次のように修正した。 「2. 次の表の空欄にあてはまる国名、または首都名を書いてみよう。」	理解のしやすさ
	56	文章	修正	1 ③の文章を次のように修正した。 「3. 東南アジアの場所を確認しよう」	理解のしやすさ
	57	文章	修正	2 ②の文章のうち、「50文字以内で」を「100文字以内で」に修正した。	理解のしやすさ
	57	配置	修正	発展的内容のために第12巻に配置した。	理解のしやすさ
	58	地図	削除修正	①「アフリカの地勢と国々」について、次の2点を削除、修正した。 ア. 地図の欄外上の一文（気温と降水量のグラフに関すること）は削除した。 イ. 本図は、「地勢編」と「国々編」2枚に分けた。地図中の首都名を地図中から削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	指導者による補足 （地図の国名の一部を省略したので、位置については地図帳の確かめなどで補うようにする。）
	58	グラフ	削除修正	②「アフリカ各地の気温と降水量」のグラフ2枚は点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	59	地図	修正削除	③「アフリカの気候区分」は熱帯雨林気候、サバナ気候、ステップ・砂漠気候、温帯の気候の区分で示した。また、赤道を裏点で示した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	59	地図	削除修正	④「アフリカの人口密度と主な都市の分布」の「アフリカの人口密度」の要素は点図化し、「100人以上」「1人～100人未満」「1人以下」の3区分で示した。また、「人口150万人以上の主な都市」は、国名（都市名）の順で示した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	60	地図	削除修正	②「アフリカ各地の直線による国境」は当該部分の線を中心に点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	61	地図	削除修正	「アフリカの国々の独立」は数表化した。独立した年号、国名の順で示した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	61	地図	削除補足	「アフリカの主な紛争と難民数」は数表化し、難民数が多い国「ソマリア、スーダン、コンゴ、エリトリア、中央アフリカ、マリ」の順に示し、国名の後に難民数を示した。また、地図の削除により主な紛争の記号は削除したため、次の説明を追加した。「現在でも多くの内戦や紛争が続いています。」	理解のしやすさ 指導者による補足
	62	グラフ	削除修正	②「なつめやしの生産」の円グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	62	グラフ	削除修正	④「カカオの生産」の円グラフは、数表化した。	理解のしやすさ

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	63	地図	修正	⑤「アフリカの農業地域」は、「ア. 農業地域」「イ. 主な農産物」の2枚の点図に分けた。 ア. は「地中海農業、かんがい農業、その他の農業、森林、砂漠」を示した。 イ. は「カカオ、なつめやし」を示した。 また、それぞれ赤道は、裏点で表した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	64	グラフ	削除 修正	③「主な鉱産資源の生産割合」の帯グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	65	グラフ	修正	④「アフリカの国々からみた貿易品目」帯グラフは、点図化した。	理解のしやすさ
	65	地図	削除 修正	⑤「アフリカの主な鉱産資源」は点図化し、金、鉄鉱石、鋼、ダイヤモンド、油田、天然ガスを表記し、他は削除した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	66	地図	削除	1「地図を使って確かめよう」の地図は、原典教科書58ページ掲載の地図を参照することとした。	理解のしやすさ
	66	文章	修正	文章を次のように修正した。 1 地図を使って確かめよう。 1. ○○（掲載）ページの地図を使って、場所を確かめよう。 ア. コンゴ川 イ. ギニア湾 ウ. サハラ砂漠 エ. 地中海 オ. ナイル川 カ. ビクトリア湖 キ. マダガスカル島	理解のしやすさ
	66	文章	修正	1 ②の文章を次のように修正した。 「2. 次の表の空欄にあてはまる国名、または首都名を書いてみよう。」	理解のしやすさ
	66	文章	修正	1 ③の文章を次のように修正した。 「3. 本初子午線と赤道の位置を確認しよう」	理解のしやすさ
	66	文章	修正	2 1. の文章のうち、「50文字以内で」を「100マス以内で」に修正した。	理解のしやすさ
	67	配置	修正	発展的内容のために第12巻に配置した。	理解のしやすさ
	67	グラフ	削除 修正	世界の地域別の児童労働の割合」の棒グラフと「カカオ輸出の国別割合」の円グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	68	地図	削除 修正	①「ヨーロッパの地勢と国々」について、次の2点を削除、修正した。 ア. 地図の欄外上の一文（気温と降水量のグラフに関すること）は削除した。 イ. 本図は、「地勢編」と「国々編」2枚に分けた。地図中の首都名を地図中から削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	指導者による補足 （地図の国名の一部を省略したので、位置については地図帳の確かめなどで補うようにする。）
	68	グラフ	削除 修正	②「ヨーロッパの国々の面積の比較」の棒グラフは、数表化した。	理解のしやすさ

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	69	地図	修正	③「ヨーロッパの気候区分」の地図は、「地中海性気候」「西岸海洋性気候」「冷帯・亜寒帯・ツンドラ気候」の区分で示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	69	グラフ	削除修正	④「ヨーロッパにみられる宗教の広がり」の図は、点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	69	グラフ	削除修正	⑥「ヨーロッパ各地の気温と降水量」のグラフ2枚は点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	70	地図	削除修正	①「ヨーロッパ連合加盟国の拡大」の地図は、表にして年代順に示した。	理解のしやすさ
	70	グラフ	削除修正	③「世界の貿易に占めるEUの割合」の円グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	71	地図	修正 削除	⑥「EUと周辺各国の一人当たり国民総所得」は表化した。国当たりの一人当たりの国民総所得額、国名の順で示した。	理解のしやすさ
	72	地図	削除修正	①「ヨーロッパの農業」の地図は、点図化して「混合農業」「酪農・放牧」「地中海式農業・園芸・果樹」「森林・その他」の区分で示した。小麦・ぶどうを削除した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	72	吹き出し	修正	みさきの文章を次のように修正した。 「①の地図と〇〇（原典教科書69ページ）の気候の図と比べてみよう。」	理解のしやすさ
	72	グラフ	削除修正	③「ヨーロッパでの生産量が多い農作物の国別割合」の帯グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	73	グラフ	削除修正	⑦「国土面積に占める農地面積の国別割合」の棒グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	74	地図	削除修正	①「ヨーロッパの資源と工業の分布」は点図化し、地図を2つに分けた。「ヨーロッパの資源の分布」では、「石油」「石炭」「鉄」示した。「ヨーロッパの工業の分布」では、「パイプライン」・「工業地域」「主な工業都市」を示した。一部を削除した部分は、指導者による補足を行うこと。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	74	図	修正 削除 追加	②「各国の分業による航空機生産の例」は、「航空機部品の製造国」の図を文章化した。また、「航空機部品の流れ」の図は、点図化し、上下左右に向かう矢印の流れを上から下へと一本化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	74	地図	修正	③「ヨーロッパの主な河川と水路」は点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	75	地図	削除修正	④「ヨーロッパに集まる外国人労働者」の地図は、「外国人労働者の割合」と「外国人労働者の移動」の2つの要素に分け表化した。	理解のしやすさ

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	75	地図	削除修正	⑤「ヨーロッパ各国の工業生産」の地図は、一人当たり工業付加価値額の区分毎に表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	77	地図	削除修正	④「ヨーロッパの酸性雨の降水の状況」の地図は、点図化し降雨のPH値を4.3以下のみ示した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	77	地図	削除修正	⑤「ポルダの広がり」の地図は、点図化し干拓の時期を削除し、干拓された場所のみを示した。また、「大堤防」「国境」を示し、運河を削除した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	78	地図	削除修正	「ロシア連邦とその周辺地域の植生分布」の地図は、雨温図のページを示した部分は削除し、点図化し、「ステップ・砂漠」は、ひとつにまとめて示した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	78	吹き出し	削除修正	かずやの文章を修正した。 「〇〇ページ（原典教科書）と〇〇ページ（原典教科書）の地図をくらべてみよう。どんな関係が読み取れるかな。」	理解のしやすさ
	79	地図	削除修正	「ロシア連邦とその周辺の人口の分布」の地図は、「人口密度分布」を点図化し、「50人以上」「1人～50人未満」「1人未満」の区分で示した。「主な都市の人口」は上位3都市を都市名、人口の順で表した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	79	グラフ	削除修正	「ロシア連邦の貿易」の帯グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	80	地図	削除	1「地図を使って確かめよう」の地図は、原典教科書68ページ掲載の地図を参照することとした。	理解のしやすさ
	80	本文	修正	文章を次のように修正した。 1 地図を使って確かめよう。 1. 〇〇ページの地図を使って、場所を確かめよう ア. アルプス山脈 イ. イベリア半島 ウ. ウラル山脈 エ. ポルガ川 オ. 黒海 カ. スカンディナヴィア半島 キ. 地中海 ク. ドナウ川 ケ. 北海 コ. ライン川	理解のしやすさ
	80	本文	修正	1 ②の文章を次のように修正した。 「2. 次の表の空欄にあてはまる国名、または首都名を書いてみよう。」	理解のしやすさ
	80	本文	修正	1 ③の文章を次のように修正した。「現在のヨーロッパ連合加盟国を確認しよう。」	理解のしやすさ
	80	本文	修正	1 ③の文章を次のように修正した。「地中海式農業が行われている地域を地図で確かめよう。」	理解のしやすさ
	81	配置	修正	発展的内容のために第12巻に配置した。	理解のしやすさ
	81	地図	削除修正	「ヨーロッパ各国の原子力発電所数と、その発電量に占める原子力発電の割合」の地図とグラフは、数表化した。	理解のしやすさ

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	82	地図	削除修正	①「北アメリカの地勢と国々」について、次の2点を削除、修正した。 ア. 地図の欄外上の一文（気温と降水量のグラフに関すること）は削除した。 イ. 本図は、「地勢編」と「国々編」の2枚に分けた。地図中の首都名を地図中から削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	指導者による補足 （地図の国名の一部を省略したので、位置については地図帳の確かめなどで補うようにする。）
	82 83	グラフ	削除修正	②および⑤「北アメリカ各地の気温と降水量」のグラフ各2枚（計4枚）は点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	83	地図	修正	③「アメリカ合衆国の領土の拡大」は、点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	83	地図	修正	④「北アメリカの気温と降水量」の地図は、点図化して示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	84	見てみよう	修正追加	文章の一部を次のように修正した。 「写真に見られる円形の模様は、宇宙から捉えた農地で…」	理解のしやすさ
	84	グラフ	削除修正	④「アメリカ合衆国が輸出量で第一位を占める主な農産物の国別割合」の円グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	85	地図	削除修正	⑤「北アメリカの農業地域」の地図は、「園芸農業」「綿花」「とうもろこし・だいず」「酪農」「小麦」「放牧」の区分と年間降水量500mm線を示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	86	写真	削除追加	②「シリコンバレーに集まる企業の例」は、写真から読み取れる文字を追記した。 「ア. Google イ. YAHOO! ウ. intel」	理解のしやすさ
	86	グラフ	削除修正	③「主な国の研究費と技術貿易」の棒グラフ及び円グラフは、2枚とも数表化した。	理解のしやすさ
	87	地図	削除修正	④「アメリカ合衆国とその周辺の主な鉱産資源と工業都市の分布」の地図は、「石油・天然ガス」を示すこととし、石炭・原油パイプライン・天然ガスパイプライン・鉄・銅を削除した。主な工業都市は、デトロイト、ピッツバーグ、サンフランシスコ、シリコンバレー、ケンタッキー州、テネシー州を示した。また、サンベルトは、地図中に文字で示した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	88	グラフ	削除修正	②「人口100人当たりの自動車保有台数」の棒グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	89	地図	削除修正	⑤「アメリカのハンバーガー会社の店舗の広がり」は多い国順に数表化した。	理解のしやすさ
	90	地図	削除修正	①「アメリカ合衆国の人種・民族の分布と主な都市圏の人口構成」は、「アフリカ系（黒人）の割合」「ヒスパニックの割合」が各々30%以上の州のみを塗り示した。	理解のしやすさ

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	90	グラフ	削除 修正	①「アメリカの人口構成」の円グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	91	地図	削除 修正	⑤「アメリカ合衆国の州別一人当たりの年間所得」の地図は削除し、数表化し区分ごとに州名を示した。「読み解こう」もそれに合うように文言を修正した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	92	地図	削除	1「地図を使って確かめよう」の地図は、原典教科書82ページ掲載の地図を参照することとした。	理解のしやすさ
	92	本文	修正	文章を次のように修正した。 1 地図を使って確かめよう。 1. ○○ページの地図を使って、場所を確かめよう ア. アパラチア山脈 イ. カリブ海 ウ. グリーンランド島 エ. スペリオール湖 オ. フロリダ半島 カ. ミシシッピ川 キ. メキシコ湾 ク. ロッキー山脈	理解のしやすさ
	92	本文	修正	1 ②の文章を次のように修正した。 2. 次の表の空欄にあてはまる国名、または首都名を書いてみよう。	理解のしやすさ
	92	本文	修正	1 ③の文章を次のように修正した。 「3. ハワイ州の位置を地図で確認しよう。」	理解のしやすさ
	92	本文	修正	2 の表は、数表化して示した	理解のしやすさ
	93	配置	修正	発展的内容のために第12巻に配置した。	理解のしやすさ
	93	グラフ	削除 修正	「国防支出総額の国別割合」の円グラフは削除し、数表化した。	理解のしやすさ
	93	地図	削除 修正	「世界に駐留するアメリカ合衆国の兵力」の地図は、数表化した。「30000人以上」「10000人以上から30000人未満」「1000人以上から10000人未満」「500人から1000人未満」の区分ごとに国名を示した。	理解のしやすさ
	94	地図	削除 修正	①「南アメリカの地勢と国々」について、次の2点を削除、修正した。 ア. 地図の欄外上の一文（気温と降水量のグラフに関すること）は削除した。 イ. 本図は、「地勢編」と「国々編」の2枚に分けた。地図中の首都名を地図中から削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	指導者による補足 (地図の国名の一部を省略したので、位置については地図帳の確かめなどで補うようにする。)
	94	グラフ	修正	②「南アメリカ各地の気温と降水量」のグラフ2枚は点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	95	地図	削除 修正	④「南アメリカ各国の主な言語と人口構成」は、「南アメリカ各国の主な言語」と「南アメリカ各国の人口構成」の要素に分け数表化した。「南アメリカ各国の人口構成」は、人口の多い順に示した。	理解のしやすさ
	96	写真	削除 追加	①の2枚の写真は削除し、そのようすを次のように文章化した。「2001年の写真は、1989年の写真に比べ、緑の部分が減少しています。」	理解のしやすさ

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	96	グラフ	削除修正	②「ブラジルの森林面積の変化」の棒グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	96	グラフ	削除修正	③「バイオ燃料の国別生産量の変化」の棒グラフは、2005、2007、2009、2011年の数値のみを数表化した。	理解のしやすさ
	97	地図	削除修正	④「世界の森林面積にみる増減変化率の分布」の地図は、点図化して日本を中心した世界地図に置き換え、「0.5%をこえる増加」を削除した。「読み解こう」も図に合わせて修正した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	98	グラフ	削除修正	③「世界の各州にみる都市人口の割合」の棒グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	98	グラフ	削除修正	④「南アメリカ各国のスラム人口」の棒グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	99	地図	削除修正	⑤「ペルーとその周辺の国々」は、国名、都市名とその標高の順で表化した。点字地図帳で国の位置を確認させることが望ましい。	理解のしやすさ 指導者による補足
	99	地図	削除修正	⑥「南アメリカの主な都市と人口密度の分布」の要素のうち、「南アメリカの主な都市の人口」は、都市名（国名）とその人口の順で数表化した。「南アメリカの人口密度の分布」は点図化し、人口密度は「100人以上」「10人～100人未満」「10人未満」の3区分で示した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	99	グラフ	削除修正	⑦「ペルーの農業経営者と農地面積の規模別割合」の帯グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	100	地図 グラフ	削除修正	①「南アメリカの資源と主な国の輸出品目構成」の要素のうち、「南アメリカの資源」は点図化した。「一人当たりの国民総所得（GNI）」は、表形式で区分毎に国名を示した。「主な国の輸出品構成」の円グラフは、数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	100	グラフ	削除修正	「銅の国別生産割合」の円グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	102	地図	削除	1 「地図を使って確かめよう」の地図は、原典教科書94ページ掲載の地図を参照することとした。	理解のしやすさ
	102	本文	修正	文章を次のように修正した。 1 地図を使って確かめよう。 1. ○○ページの地図を使って、場所を確かめよう ア. アマゾン川 イ. アマゾン盆地 ウ. ギアナ高地 エ. ブラジル高原 オ. ラブラタ川	理解のしやすさ
	102	本文	修正	1 ②の文章を次のように修正した。 「2. 次の表の空欄にあてはまる国名、または首都名を書いてみよう。」	理解のしやすさ
	102	本文	修正	1 ③の文章を次のように修正した。 「3. 主にスペイン語が使われている国々を、書き出して確認しよう。」	理解のしやすさ

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	102	表	修正	2「各国の民族構成」の表は数表化した。	理解のしやすさ
	103	配置	修正	発展的内容のために第12巻に配置した。	理解のしやすさ
	103	グラフ	削除修正	「南アメリカで暮らす日系人数」の円グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	104	地図	削除修正	①「オセアニアの地勢と国々」について、次の2点を削除、修正した。 ア. 地図の欄外上の一文（気温と降水量のグラフに関すること）は削除した。 イ. 本図は、「地勢編」と「国々編」2枚に分けた。地図中の首都名を地図中から削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	指導者による補足 （地図の国名の一部を省略したので、位置については地図帳の確かめなどで補うようにする。）
	104	グラフ	修正	②「オセアニア各地の気温と降水量」のグラフ2枚は点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	106	地図	修正	①「オーストラリアへの移民の出身国別人口の変化」の地図2枚は数表化した。	理解のしやすさ
	107	地図	削除修正	④「オーストラリアの農業地域の分布」は、点図化し、牧羊、牧牛、主に小麦などの穀物、非農業地域の区分で示した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
		地図	削除修正	⑤「オーストラリアの人口分布」は点図化し、人口密度は「50人以上」「1人～50人未満」「1人未満」の3区分とした。	理解のしやすさ
	108	グラフ	削除修正	②「オーストラリアとニュージーランドの貿易相手先」の円グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	109	地図	削除修正	③「オーストラリアの輸出相手国の変化」は、数表化した。	理解のしやすさ
	109	地図	削除修正	④「日本からオセアニアへの訪問客数」は、数表化した。	理解のしやすさ
	110	地図	削除	1「地図を使って確かめよう」の地図は、原典教科書104ページ掲載の地図を参照することとした。	理解のしやすさ
	110	本文	修正	文章を次のように修正した。 1 地図を使って確かめよう 1. ○○（原典教科書104ページ）の地図を使って、場所を確かめよう。 ア. グレートディバイディング山脈 イ. グレートビクトリア砂漠 ウ. ニューギニア島 エ. 日付変更線 オ. ポリネシア カ. ミクロネシア キ. メラネシア	理解のしやすさ
	110	本文	修正	1 ②の文章を次のように修正した。 「2. 次の表の空欄にあてはまる国名、または首都名を書いてみよう。」	理解のしやすさ
110	本文	修正	1 ③の文章を次のように修正した。 「3. 地図の中の東経135度線を確認しよう。」	理解のしやすさ	

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	110	本文	修正	2 ①の文章を次のように修正した。 「1. シドニーの気温と降水量のグラフは次のとおりです。〇〇ページの東京の気温と降水量と比較して分かることを書きだそう。」また、気温と降水量の表は、グラフにして示した。	理解のしやすさ
	110	本文	修正	2 1. の文章のうち、「50文字以内で」を「100マス以内で」に修正した。	理解のしやすさ
	111	配置	修正	発展的内容のために第12巻に配置した	理解のしやすさ
	112	地図	削除修正	①「南アジアの地勢と国々」について、「地勢編」と「国々編」の2枚に分けた。地図中の首都名を地図中から削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	指導者による補足 (地図の国名の一部を省略したので、位置については地図帳の確かめなどで補うようにする。)
	112	グラフ	修正	④「南アジアの気温と降水量」のグラフは点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	114	写真	削除修正	①「インドの500ルピー札」には写真の代わりに次のような補足を付けた。 「500ルピー札は英語のほか、インドで公用語と認められている17の語で、『500ルピー札』と書かれています。」	理解のしやすさ
	116	グラフ	削除修正	③「インドの人口の変化」は、数表化した。	理解のしやすさ
	117	地図	削除修正	⑤「南アジアの人口密度の分布」は点図化し、分布の階級を変更して図示した。人口密度は「25人未満」「25人～500人」「500人以上」の3階級とする。各都市の人口は別表に示した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	119	画面	修正	④「調査結果をまとめる」は順番に点訳するが、画面のうち「南アジアの宗教別人口割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	121	配置	移動	P. 121～124は、第12巻に配置した	理解のしやすさ
	121	地図	削除修正	「夏季オリンピックの開催国・都市の分布」は、「開催都市のリスト」と「開催国の地域別リスト」の2枚の表に分けて示した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	122～123	地図 本文	削除修正	『宇宙からとらえた地球』 写真をタイトルで示し、その後以下のように先生(女性)による解説を修正した。 「二枚の写真があります。1枚目は、海底も含めた世界の地形を…(以下同じ)、2枚目は、世界各地が夜間の時を…(以下同じ)…合成したものです。」 ※最後の1文を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	122 ～123	地図 本文	削除 修正	『宇宙からとらえた日本列島』 地図自体は削除し、セリフを通じて解説する。最初に解説文を付加した。 「日本列島を宇宙からとらえた写真があります。日本列島の特徴のある場所を、一緒に見ていきましょう。」 以下、①～④を解説した。 文章は次の点を修正した。 ①「…山々があります。写真には、山頂には雪が積もっている様子が写っています」 ②「…続きます。海のそばにいくつも池が見られますが、このような池を海跡湖と言います」 ※他は同じとする。	理解のしやすさ 指導者による補足
	124	地図	削除 修正	「日本の世界遺産の分布」 地図は削除し、先生のコメントの後、世界遺産を北から順に並べることとした。	理解のしやすさ
	126	地図	削除 修正	①「16世紀後半につくられた世界地図」は図を削除し、解説をつける（出版社問い合わせ）	理解のしやすさ
	126 127	図	削除 修正	②「ロンドンと東京・ニューヨークの位置関係」と③「イギリスと中心とした世界の…」は図を削除し、データのみを数表化し、それぞれに世界各地の時刻を列記した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	128	地図	修正	①「日本の領土・領海と排他的経済水域」は、点図化した。排他的経済水域を塗った図とし、地図中に領土の端を1.～4.の番号で示した。補足資料の扱いでA～Dをあげ、Dのあとに説明文をおいた。それに伴い、「読み解こう」を以下のように修正した。 「①地図中の1.～4.にあてはまる島の写真を…（以下同じ）」	触覚による把握 理解のしやすさ
	129	図	修正	③「領土・領海・領空の区分」は、点図化し、各区分を断面図の形式で示した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	129	図	削除 修正	④「主な国の領土と排他的経済水域の面積」は、数表化した。	理解のしやすさ
	130	地図	修正	②「北方領土とその周辺」は、領域がわかるよう点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	131	地図	削除 修正	②「竹島、尖閣諸島の位置」は、それぞれの位置関係がわかるように各1枚ずつを点図化し、それぞれに属する島名を注記した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	132	地図	修正	①「日本の都道府県と七地方区分」は、点図化し、7地方区分ごと、7枚の地図とし、それに地方名を加えた。それに伴い、「読み解こう」を次のように変更した。 「①各地方区分にあてはまる都道府県名をすべてノートに書き出そう。」	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	133	地図	削除 修正	③「都道府県庁所在地と成り立ち」は、地図は削除し、都道府県庁所在地と城下町の都市名を表形式で示した。	理解のしやすさ

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	134	地図	削除 修正	①「古代の五畿七道による区分」と②「昔の国の区分」は地図は削除し、表形式で現在の地名と対照できるように一体化して示した。	理解のしやすさ
	134	地図	削除 修正	③「電力会社の営業地域の区分」は地図を削除し、各社の営業都道府県を表形式で示した。	理解のしやすさ
	135	地図	削除 修正	④「各地の雑煮に入れる餅の形の分布」は地図を削除し、餅の形ごとに都道府県で示した。写真については削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	135	地図	削除	「地理の窓」附属の「和歌山県東牟婁郡北山村」の地図は削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足 地図帳等で位置関係を指導者が補足してほしい。
	136	配置	移動	本項目は発展的内容ゆえ第12巻に配置する	理解のしやすさ
	136	本文	修正	本文中を、以下の通り修正した。 「①日本列島の地図をなぞってみましょう。」「③北緯40度、東経140度の線がポイントとなります」（数値を補充した。）また、以下の通り吹き出し等も修正した。 「あすか：はじめに地図中の緯度と経度を確認してから、日本の海岸線を描いてみよう。」 「かずや：地図をじっくり眺め、描き始めるスタート地点を決めよう。」 先生：空欄に数値を補充した。 ア=35、イ=140 図は、概念図として掲載した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	138	地図	削除 修正	①「世界の主な火山と地震源の分布」は、二つの造山帯が帯として理解できるよう配慮して作成し、主に火山の位置を示した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	139	地図	削除 修正	③「世界のプレートの分布」は、プレートの位置と動きがわかるよう特化して点図化し、細かな名称等は削除した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	139	地図	修正	「地理の窓：なぜ、日本では多く地震が起きるのか」中の「日本付近のプレート」の図は、二枚の点図として示し、日本周辺のプレートとその断面を明確にした。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	140	地図	修正	①「日本の主な山脈・山地、火山の分布」は、フォッサマグナでわけた、東北日本と西南日本の二枚の点図として示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	141	図	修正	⑤「世界の日本の主な川の比較」は、常願寺川、木曾川、セヌ川、メコン川のみ点図化し、残りの川については数表で示した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	141	地図	削除 修正	⑥「日本の主な平野・平地、河川の分布」は、「平野・盆地」と「川」を別にして2枚の地図を作成した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	142	地図解説	削除修正	①「2万5千分の1地形図『天城山』中の大室山と大室山の写真」は、大室山地域の地図上での理解を考慮して、2枚の地図を作成した。 1) サーモフォームで作成した、高さの差がわかる図 2) 平面図として作成した地図 なお、解説の最後の一文を次のように変更した 「大室山の斜面が、地形図ではどのように表現されるか、考えてみましょう」	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	142	地図解説	削除修正	「地理にアプローチ：地形図から断面図を作ろう」中の2枚の図は、「断面図のみ」を作成し、①の地形図と比較できるようにした。 また解説は、「地形図と断面図を比べると、次のことができます」と冒頭に注記し、「赤い線」を「山を東西に通る線」とした。☆は削除した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	143	縮尺	削除修正	②「縮尺の種類と、地図上の実際の長さの比較」は、実際の長さの図を削除した	理解のしやすさ
	143	地図 記号	削除修正	②「主な地図記号」は、代表的なものとして以下の12個のみを点図で示した 市役所、官公署、裁判所、小中学校、寺院、史跡・名勝・天然記念物、高塔、電波塔、果樹園、荒地、広葉樹林、針葉樹林	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	143	地図課題	削除修正	「地理にアプローチ：地形図の読み取りにチャレンジしよう」は、課題を以下のように修正した上で、地形図を課題内容の読み取り可能な形の地図に修正して、点図化した。 (課題文) 地形図の表現を利用した、あとの地図を読み取り、(1)～(3)に答えよう。 (1) 図中の蜂城山と博物館が2万5千分の1の地形図で4cmのとき、 <u>実際の距離を求めよう。</u> (2) <u>果樹園と針葉樹林ほどのあたりに広がっているか、説明しよう。</u> (3) <u>この地形は何か、考えてみよう。</u>	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	144	地図	修正	④「日本周辺の季節風の風向き」は、二つの風の流れと、100mm以上の降水量がわかるように2枚とも点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	145	地図	修正	⑤「日本の気候区分」は、特に⑥で取り上げる地点の位置が分かるよう焦点化して点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	145	グラフ	修正	⑥「日本各地の気温と降水量」の6枚のグラフは、点図化した。⑤の関係を意識した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	146	地図	修正削除	②「南海トラフ地震の震源を予測した地図」は、南海トラフと予想震源域に特化した内容で点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	147	地図	修正 削除	⑤「日本周辺の主な地震と活断層の分布図」は、地震の震央と活断層の区別がつくように点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	148	絵図	削除	①「横須賀市が作成した津波ハザードマップ」は削除した。	理解のしやすさ
	149	関係図	修正	③「被災した地域を支援する公的なしくみ」は被災地との関連性に配慮して、表にした。	理解のしやすさ 指導者による補足
	150	地図	削除 修正	①「世界の人口密度」は、5つの階級のうち、数の少ない2階級を「10人未満」に統合して点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	150	図	修正	②「世界の人口の変化」は、年号がわかるように明確化して点図化し、「かかった年数」の資料は別に数表化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	150	図	削除 修正	③「各国に見る人口密度の違い」は数表化した。	理解のしやすさ
	151	グラフ	修正	④「国別の人口構成の例」および⑤「日本の人口構成の変化」は7枚とも点図化した。なお、各グラフ内の人口構成の分布は数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	151	グラフ	修正	⑦「国別の出生率と死亡率の例」は数表化した。	理解のしやすさ
	152	地図	修正	①「日本の人口密度の分布」は、4階級のうち、数の少ない2階級を「300人未満」に統合して点図化した。 また、政令指定都市は別に表形式で示した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	152	地図 グラフ	削除 修正	②「日本の過疎地域の分布とその割合」は、過疎地域の分布のみを点図化し、グラフの部分は数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	152	グラフ	修正	③「過密地域と過疎地域の年齢別人口構成」は、人口ピラミッドを市町村ごとに2枚に分割して点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	153	地図	削除	④「都道府県別に見る65歳以上の人口割合の変化」は、各階級ごとに都道府県数と都道府県名を示し、数表化した。	理解のしやすさ
	153	グラフ	削除 修正	⑤「各国の高齢者人口の割合の変化」は、「イギリス」を除く3国の変化をグラフで示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	153	グラフ	削除	⑥「日本の年齢別人口割合の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	154	グラフ	削除	①「日本が輸入している主な資源の輸入先」は数表化した。	理解のしやすさ
	154	地図	削除 修正	②「世界の鉱産資源の分布と…」の図は、本文に関わる石油、石炭、鉄鉱石の分布のみ図示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	154	グラフ	削除	③「世界の石炭・原油の生産割合」は数表化した。	理解のしやすさ

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	154	グラフ	削除	④「エネルギー消費と人口の州別割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	155	グラフ	削除	⑤「各国の発電エネルギー源別の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	155	地図	削除 修正	⑥「日本の主な発電所」は、要素を集約して点図化した。	理解のしやすさ
	156	地図	削除 修正	①「各国一人当たり国民総所得と…」は、階級を、10000ドル以上、3000ドル以上、3000ドル未満で塗り分けて点図化した。 また、産業別人口の割合については表形式で示した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	156	グラフ	削除	②「日本の産業別人口構成の割合の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	157	地図 グラフ	削除 修正	③「日本の主な工業地帯…」は、「日本の主な工業地帯・工業地域の地域構成と…」と前半の標題を変更し、その部分のみ表形式で示し、地図は削除した。工業出荷額の割合は別の表で示した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	158	地図	削除 修正	①「世界の主な航空路線」は、東京発着の主な路線と、それ以外の航空路線にわけ、表形式で示した。	理解のしやすさ
	158	地図	削除 修正	②「日本からヨーロッパへのコースと…」は①～③の各航路の都市名に国名を補記して、表形式で示した。	理解のしやすさ
	158	グラフ	削除 修正	③「日本の輸出・輸入から見た品目の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	159	地図	削除 修正	③「東京から各地への時間距離から見た…」は、年ごとに、かかる時間の単位で都市の一覧を表形式で示した。	理解のしやすさ
	159	グラフ	削除	⑤「東京－大阪間の鉄道における…」は、数表化した。	理解のしやすさ
	160	地図 文章	削除 修正	このページの地図を削除し、参照ページを示した上で、文を次のように修正した。 「1. ①世界の二つの造山帯の名前を答え、それぞれの場所を地図で確認しよう。 ②2 日本の六つの気候区分名を答え、それぞれの場所を地図で確認しよう。 2. ③日本の新幹線や高速道路は、主にどのような人口や産業の分布が見られるのか、まとめてみよう。」	理解のしやすさ 指導者による補足
	162	地図	削除 修正	③「九州地方の位置」を削除した。 「福岡市から東京、ソウル、ペキンまでのそれぞれの距離を調べてみよう。」	理解のしやすさ (アジア地方の基本地図を用いて九州の位置を確認すること。)
	163	地図	修正	④「九州地方の地勢と各県」は、地勢と、各県・都市の2つの要素に分け2枚の点図にした。	理解のしやすさ 触覚による把握

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	165	地図	修正	④「沖縄県の土地利用」は住宅地と軍用地をとりあげて点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	165	グラフ	修正	⑥「九州地方各地の気温と降水量」は3枚とも点図化した。	触覚による把握
	167	地図	修正	⑤「九州地方の主な火山分布」は、火山の位置のみ点図化し、火山名を表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	167	地図	修正追加	⑥「九州地方のシラスの分布」は点図化し、次の文章を追加した。 「鹿児島県の約52%がシラス台地です。」	理解のしやすさ 触覚による把握
	168	グラフ	修正	②「主な家畜の都道府県別の飼育頭数の割合」を数表化した。	理解のしやすさ
	169	地図	修正	③「都道府県別の畜産業生産」は数表化した。	理解のしやすさ
	170	写真説明	修正削除	「上の二つの写真を見比べてみましょう。」を削除し「左の写真は、」を「1の写真は、」に「右の写真に」を「2の写真に」に修正した。	理解のしやすさ ※どのように色が違うか補足説明する
	170	吹き出し	修正	「海の色が全然違うね。」を「海の色が全然違うよ。」に修正。	理解のしやすさ
	171	地図	削除修正	⑤「エコタウン事業が進められる地域」を表化した。	理解のしやすさ
	171	地図	修正	⑥「九州地方の主な工業の分布」は高速道路と鉄鋼、I C、自動車を地図上に示して点図化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	171	グラフ	修正	⑦「福岡県の工業生産の変化」を数表化した。	理解のしやすさ
	172 ～173	配置 地図 写真	修正 削除 補足	12巻に配置した。 資料に番号をつけた。 1 地図：「日本各地の公害病の認定患者数」は、地図は削除し、認定患者数を数表化した。 2 図：「四大公害と裁判のあらまし」は、表であらわした。 3 写真：「語り部から話を聴く来館者」	理解のしやすさ
	174	地図	修正	③「中国・四国地方の人口分布」は人口集中地区をとりあげて点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	175	地図	修正削除	④「中国・四国地方の地勢と各県」は地勢と、各県・都市の二つの要素に分け、さらに中国地方と四国地方に分けて計4枚にして点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	175	グラフ	修正	資料⑤「中国・四国地方の気温と降水量」は3枚とも点図化した。	触覚による把握
176	10 11	削除 修正	本文「上の1898年頃の」の「上の」を削除 本文「軍隊の記号(○★)を読み取ることができます。」を「軍隊の記号(丸に星)がえがかれています。」と修正した。	理解のしやすさ	

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	176	見てみよう	修正	冒頭部分を以下のようにした。 「昔の広島市を示した古い地形図からは、当時の様子がわかり、現在の地形図と比べることで地域の変化を捉えることもできます。1980年、…」	理解のしやすさ
	176	吹き出し	修正	「…記号があるね。」を「…記号があるよ。」に修正した。	理解のしやすさ
	176	地図	削除	①「1898年ごろの広島市」の地図は削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	176	グラフ	修正	②「広島市の人口・面積の変化」のグラフ中の年号と出来事は年表にした。人口の変化の折れ線グラフは点図化し、面積の変化の棒グラフは数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	177	地図	削除 修正 追加	③のタイトルを「2012年ごろの広島市」として、1950年ごろの地形図は削除した。太田川、広島城、平和大通、原爆ドーム、平和公園、相生橋を地図上に表した。資料の説明を以下のように修正した。 「原爆はTの形をした相生橋を投下目標として落とされました。広島城から紙屋町周辺の畑が広がっていたところには、県庁や市民病院、合同庁舎などが建てられています。」	触覚による把握 指導者による補足
	178	グラフ	修正	③「太田市の人口構成と人口の変化」は2枚とも点図化した。	触覚による把握
	178	地図	削除	④「都道府県別の人口増減率」は、表化した。	理解のしやすさ
	179	地図	修正	⑤「中国・四国地方の市区町村別の人口増減率の変化」は数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	179	読み解こう	修正	上記の数表にあわせて、「図」を「表」にするなど、文言を修正した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	179	地理の窓	修正	「右の写真は、」を「写真は、」に修正した。	理解のしやすさ
	180	地図	削除 追加	②「高知県馬路村と徳島県上勝町の位置」は削除して以下のように補足説明を入れた。 「馬路村は高知市から東へ50kmほど行った徳島県との県境にある山あいの村です。上勝町は徳島市から南西に20kmほど行った山あいの町です。」	理解のしやすさ 指導者による補足 ※本文中の文章と四国地方の地図で位置を確認する
	180	グラフ	修正	③「馬路村の人口構成と人口構成」は点図化した。	触覚による把握
	181	グラフ	修正	⑦「上勝町の人口構成」は点図化した。	触覚による把握
	182	地図	削除	②「本州四国連絡橋のルート」は削除し、表化した。	指導者による補足 ※各ルートの位置を地図帳で確認。

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	183	地図	修正	⑥「中国・四国地方の交通網の変化」は、高松市から3時間で到達できる範囲を1枚の地図に表して、点図化した。高速道路は2011年のものを地図上に表した。	触覚による把握
	183	グラフ	修正	⑦「本州・四国間の高速バスの輸送客数の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	184 ～185	地図 グラフ	修正	12巻に配置し、資料に番号をつけた。 1 図：「高齢者（65歳以上）が人口の50%を占める集落数とその割合」は、地図は削除し、割合と集落数を数表化した。 2 グラフ：「林業就業者数とその高齢化率の変化」は、数表化した。 3 図：「都道府県ごとの耕作放棄地の占める割合」は、地図は削除し、数表化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	186	全体	修正	設問を次のように修正した。 1 ①次に挙げる山地、河川、平野などを地図で確認しよう。（山地名、河川名、平野名は列挙しておく。） 2 ①「略地図を使って」を「地図を使って」に修正した。④「略地図にまとめ」を「地図で確認して」に修正した。	理解のしやすさ 各地方の地図を活用する
	188	地図	削除 追加	②「主な都の移り変わり」と古い国名の地図は削除し、畿内五カ国の現在の位置を文章で追加した。	指導者による補足 ※近畿地方の地図や歴史の教科書の畿内の地図で五カ国の位置を確認すること
	189	地図	修正	③「近畿地方の地勢と各府県」は地勢と、各府県・都市の二つの要素に分けて点図化した。	理解のしやすさ
	189	グラフ	修正	④「近畿地方各地の気温と降水量」は2枚とも点図化した。	触覚による把握
	189	地図	修正	⑤「近畿地方の人口分布」は人口集中地区をとりあげて点図化した。	指導者による補足 触覚による把握
	189	地図	修正	③「近畿地方の地勢と各府県」は地勢と、各府県・都市の二つの要素に分けて点図化した。	理解のしやすさ
	189	グラフ	修正	④「近畿地方各地の気温と降水量」は2枚とも点図化した。	触覚による把握
	189	地図	修正	⑤「近畿地方の人口分布」は人口集中地区をとりあげて点図化した。	指導者による補足 触覚による把握
	190	地図	削除	資料②「平安京の大路と現在の市街地の広がり」は削除した。	理解のしやすさ ※本文と1の写真の解説から理解できる
	191	図	修正	⑤「京町家の間取りの例」は点図化した。	触覚による把握
	192	グラフ	修正	②「日本の工業地帯・工業地域の生産割合の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	193	地図	修正	③「日本の主な製鉄工場の分布の移り変わり」は表化した。	理解のしやすさ

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	193	地図	修正	④「近畿地方の主な工業都市の分布」は播磨臨海工業地域と堺泉北工業地域の位置、県庁所在地を取り入れて点図化し、工業生産額が1兆円以上の都市を表化した。	触覚による把握 指導者による補足
	194	見てみよう	修正	冒頭部分から「大阪の北の玄関口、梅田にある大阪駅の2枚の写真です。…」とした。	理解のしやすさ
	194	グラフ	修正	②「主な都道府県の年間商品販売額における卸売業の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	194	グラフ	修正	③「卸売業の年間商品販売額に占める各都道府県の割合の変化」は折れ線グラフを点図化し数値を数表化して併記した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	195	地図	修正	④「卸売・小売業企業の本社所在地の分布」は数表化した。	理解のしやすさ
	195	地図 グラフ	修正	⑤「大阪市への通勤・通学者の分布」は、大阪市近郊のニュータウンの場所と大阪市へ通勤・通学している人数を府県ごとに表にして地図は削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	197	地図	削除 追加	④「琵琶湖周辺地域の市街地の拡大」は地図を削除し、以下の説明を追加した。 「市街地が大津市から草津市にかけて拡大している。」	理解のしやすさ 指導者による補足
	197	地図	修正	⑤「淀川水系の水が供給されている地域」は淀川水系流域界と利用区域、淀川をとりあげて点図化し、水利用人口は数表化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	197	地図	修正	⑥「琵琶湖の水質の変化」は1980年と2012年をとりあげて点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	198 ～199	グラフ 写真	修正	12巻に配置した。 資料に番号をつけた。 1 グラフ：「日本に住む外国人の国籍（出身地）別の割合」は数表化した。 2 写真：「南京町の春節祭」 3 写真：「日本各地の中華街」 4 写真：「にぎわうコリアンタウン」	理解のしやすさ
	200	地図	修正	②「北陸地方、中央高地、東海地方の区分」は点図化した。	触覚による把握
	200	グラフ	修正	③「中部地方各地の気温と降水量」は点図化した。	触覚による把握
	201	地図	修正	④「中部地方の地勢と各県」は、地勢と各県・都市の二つの要素に分け2枚にして点図化した。	触覚による把握
	202	グラフ	修正	③「主な工業地帯・工業地域の生産額の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	202	グラフ	修正	⑤「輸送用機械の生産額の都道府県別割合」は、数表化した。	理解のしやすさ

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	203	地図	修正	⑥「中京工業地帯・東海工業地域の工業都市の分布」は、工業地帯、工業地域と工業生産額3兆円以上の都市をとりあげて点図化した。工業地域別に3兆円以上と1兆～3兆円未満の都市を表化した。	触覚による把握 指導者による補足
	204	グラフ	修正	②「茶の都道府県別の生産の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	205	グラフ	修正	④「日本の漁獲量の変化」は遠洋漁業、沖合漁業、輸入、海面養殖業の4つをとりあげて点図化した。	指導者による補足 触覚による把握
	205	地図	修正	⑤「日本の主な漁港と水揚げ量」は水揚げ量を数表化した。海流は第2編第2章④「四季のある気候」の⑤の図を参照。	理解のしやすさ 指導者による補足
	206	グラフ	修正	②「レタスの都道府県別の生産割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	206	グラフ	修正	③「レタスの月別出荷量」は点図化した。	触覚による把握
	206	グラフ	修正	④「ぶどうの都道府県別の生産割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	207	地図	修正	⑥「中央高地の主な観光地と観光客数」は数表化した。	理解のしやすさ
	208	地図	削除 修正	①「北陸地方の伝統的工芸品の産地」は表化した。写真は削除し、表の中を含めた。	理解のしやすさ
	208	地図	修正	②「日本の年最深積雪量の分布」と「新潟の気温と降水量」に分けて点図化した。積雪量の分布は、100cm以上50cm～100cm未満、50cm未満の3区分にして点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	209	地図	修正	③「日本の主な地場産業の分布」は表化した。	理解のしやすさ
	209	グラフ	修正	④「主な県の農業生産額の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	210 ～211	グラフ 地図 写真	修正	12巻に配置した。 資料に番号をつけた。 1 グラフ：「浜松市の国籍（出身地）別の外国人数の割合」は数表化した。 2 グラフ：「国籍（出身地）別外国人登録者数の変化」は中国、韓国・朝鮮、ブラジル、フィリピンの4つをとりあげて点図化した。 3 図：「主な外国人集住都市の分布と国籍（出身地）別の人口の割合」は、地図は削除し、数表化した。 4 写真：「日本語の学習支援を受けるブラジル人の中学生」	理解のしやすさ 触覚による把握
	212	地図	修正	①「日本国内の主な航空路線の旅客数」は100万人以上の航空路線を数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	213	地図	修正	③「関東地方の地勢と各都県」は、地勢と、各都県・都市の二つの要素に分けて点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	213	グラフ	修正	④「関東地方の気温と降水量」は2カ所とも点図化した。	触覚による把握
	214	グラフ	修正	②「東京都と関東地方への集中」は数表化した。	理解のしやすさ
	215	地図	修正	③「東京の中心地域」は鉄道路線と主要駅、商業・業務地区をとりあげて点図化した。	指導者による補足 触覚による把握
	215	地図	修正	④「東京周辺の昼間と夜間の人口」は点図化し、「300人以上は千代田区、港区、中央区」と説明を入れた。	理解のしやすさ 触覚による把握
	216	地図	修正	①「東京23区への通勤・通学者人口の分布」はニュータウンの位置と、通勤距離ごとに通勤通学者人口10万人以上と5万人以上の都市を表にして、地図を削除した。	指導者による補足 ※ニュータウンや都市の位置を地図で確認する。
	217	地図	修正	④「東京周辺の地価分布」は45万円以上、21万円～45万円未満、21万円未満の3区分にして点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	217	地図	削除	⑤「東京の市街地の拡大」は削除した。	指導者による補足 ※本文から理解できるため。
	218	地図	修正	①「関東地方の主な工業都市の分布」は自動車道と工業生産額が3兆円以上、1兆円～3兆円未満の都市をとりあげて点図化した。	指導者による補足 触覚による把握
	218	グラフ	修正	②「製造品出荷額の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	219	グラフ	修正	⑤「関東地方の工業に見る地域別生産額の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	220	地図	修正	②「都道府県別の外国人登録者数」は数表化した。	理解のしやすさ
	221	地図	修正	⑤「日本の主な港の貿易額」は数表化した。	理解のしやすさ
	221	グラフ	修正	⑥「横浜港と成田国際空港の貿易品目」は数表化した。	理解のしやすさ
	221	地理の窓	追加	写真「改善された表示」に以下の説明を追加した。「総理官邸前」のローマ字表記「Sorikantei」が英語表記「Prime Minister's Office」に改善されている。	理解のしやすさ
222 ～223	地図 写真	修正	12巻に配置した。資料に番号をつけた。 1 写真：「さんまをふるまう二つの祭り」 2 地図、表、写真「目黒と各地の結びつき」は、地図と写真を削除して表化した。	理解のしやすさ	

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	224	全体	修正	設問を次のように修正した。 1 ①次に挙げる山脈・山地、河川、平野などを地図で確認しよう。(山脈・山地、河川、平野などの地名は挙げておく) ③各地域に位置する政令指定都市について、数字をヒントに書き出してみよう。(地域ごとに政令指定都市の数を示しておく。)表は削除。 2 ①「略地図にまとめてみよう。」を「位置を地図で確認しよう。」に修正した。	理解のしやすさ 各地方の地勢図を活用すること
	227	グラフ	修正追加	⑤「東北地方の気温と降水量のグラフ」は2枚とも点図化した。⑦にも「気温と降水量のグラフ」があることを補足した。	理解のしやすさ
	227	地図	修正	資料⑥「東北地方の地勢と各県」は、地勢と、各県・都市の二つの要素に分けて2枚にし点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	227	グラフ	修正	資料⑦「東北地方の気温と降水量のグラフ」は2枚とも点図化した。	触覚による把握
	229	地図	修正	④「ユネスコに登録された日本の無形文化遺産の分布」は表化した。	理解のしやすさ
	229	図	修正	⑤「南部曲家の間取りの例」は簡略化して点図化し、居室等の名称は表化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	229	地図	修正	⑧「東北地方の伝統的工芸品の分布」は表化した。	理解のしやすさ
	230	12	追加	東北地方は古くは陸奥国と…の箇所陸奥のあとに(りく おく)と漢字の説明を入れた。	理解のしやすさ
	230	地図 写真	修正 削除	①「東北地方にみられるさまざまな雑煮」は表化して、それぞれの餅が角餅か丸餅かを追加し写真は削除した。	理解のしやすさ
	231	図	修正	④「リアス海岸と津波の関係」は図を簡略化して点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	231	グラフ	修正	⑤「魚種別にみる都道府県別漁獲量」は、表化した。	理解のしやすさ
	232	グラフ	修正	③「東北地方各県の米の品種別作付面積の割合」は、数表化した。	理解のしやすさ
	233	地図	修正	④「東北地方の稲の冷害」は60%以上、20～60%未満、0～20%未満(0%も含む)の3つの区分にして点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	233	グラフ	修正	⑤「日本のりんごとみかんの県別の生産量」は数表化した。	理解のしやすさ

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	234	写真	追加	①「農村の風景」は写真に番号を付け、風景の説明を追加した。 1. 2008年岩手県一関市本寺「山や森林の間に不規則に区切られた水田がつくられています。水田のすぐ近くに家が点在しています。」 2. 2000年秋田県大潟村「見渡す限り一面の水田地帯で、民家はみられません。水田はきちんと区画整理されています。」	理解のしやすさ 指導者による補足
	234	吹き出し	修正	次のように修正した。 「同じ水田のようだけど、岩手県の写真は…で、秋田県の写真は…かな。」	理解のしやすさ
	235	グラフ	修正	③「東北地方の各県にみる主業・副業別農家の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	235	地図	修正	④「東北地方の主な交通網と工場の分布」はタイトルを「東北地方の高速道路とIC関連工場の分布」と修正し、高速道路とIC関連工場の位置をとりあげて点図化し、製造品出荷額は数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 鉄道について補足説明
	236 ～237	地図 写真	修正	12巻に配置した。資料に番号をつけた。 1 地図：「岩手県下閉伊郡山田町大沢地区の位置」県全体が入った地図のみ点図化し、山田町をクローズアップした地図は削除した。 2 写真：「震災で照りが壊れた魚賀波間神社の階段」 3 写真：「魚賀波間神社の例大祭で行われた郷土芸能」 4 写真：「回収された被災した文化財」	理解のしやすさ 山田町大沢地区の位置について指導者による補足説明
	238	地図	修正	①「北海道の土地利用の変化」は、1985年ごろの土地利用を都市・集落、田、畑、その他の4つの区分で点図化した。同じ区分で1850年頃の地図も点図化し、比較できるようにした。	理解のしやすさ 触覚による把握
	238	図	修正	②「アイヌ語に由来する主な地名」は表化した。	理解のしやすさ
	239	地図	修正	③「北海道地方の地勢」は、地勢と、主な都市の二つの要素に分けて点図化した。	理解のしやすさ
	240	地図	修正	②「北海道にみる再生可能なエネルギーの利用の例」は写真の北見市と苫前町の位置と風力発電、雪氷熱利用、太陽光発電をとりあげて点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	240	地図	修正 追加	④「流水の南下と「桜前線」の北上」は、桜前線を一部省略して点図化した。理解しやすくするために北方領土と沖縄を地図から削除し「沖縄では、1月に桜の花が咲きます。」と文章を追加した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	241	地図	修正	⑤「北海道の日照時間の分布」は、120時間以上、80～120時間未満、120時間以上の3つの区分で点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	241	グラフ	修正	⑧「北海道各地の気温と降水量」は3枚とも点図化した。P.243にも3枚あることを補記した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	242	グラフ	修正	③「耕地面積からみた、日本・各都府県と北海道との比較」は数表化した。	理解のしやすさ
	243	グラフ	修正	⑤「北海道各地の気温と降水量」は3枚とも点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	243	グラフ	修正	⑥「主な農産物の生産量に占める北海道の割合」は北海道以外の県をその他として点図化し、他県を入れた数値を併記した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	243	地図	修正	⑦「十勝川流域にみる湿原の分布の移り変わり」は、湿地と市街地をとりあげて点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	243	13	修正	「右の図7は、」を「図7は、」に修正した。	理解のしやすさ
	245	グラフ	修正	⑤「北海道の海面漁業生産の変化」は、生産量の折れ線グラフは点図化し、生産額は数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	245	図	修正	⑥「北海道の市町村別漁業生産量と魚種別生産量」は数表化した。	理解のしやすさ
	246	グラフ	修正	③「北海道の外国人観光客の国・地域別割合」は、数表化した。	理解のしやすさ
	247	地図	修正	⑥「日本のラムサール条約登録湿地」は表化した。	理解のしやすさ
	247	グラフ	修正	⑦「北海道内の月別観光客数」は数表化した。	理解のしやすさ
248 ～249	地図 写真 図	修正	12巻に配置した。資料に番号をつけた。 1 写真「チカップ美恵子さん」 2 写真「刺繍作品「フレベンナ＝虹の歌」」 2 図「アイヌ文様のパターン」は、アラモレウ、アイウシ、オホヤンケを取り上げて点図にした。 4 写真「アイヌ音楽のコンサート」 5 写真「アイヌ語地名を平等に表記した看板」は、看板に書かれていることを次のように文章化した。「地名が、カタカナと漢字で横に並べて表記され、その下にはチカプニの由来が書かれています。」 6 写真「ムックリ（口琴）やウポポ（歌）を奏でる」 7 地図「「ベツ」「ナイ」（「川」の意味）がつく地名の分布」は「ベツ」「ナイ」がつく地名の数を数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握	

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	250	全体	修正	設問を次のように修正した。 1 ①次にあげる山脈・山地、河川、平野などを地図で確認しよう。（山脈・山地、河川、平野などの地名は挙げておく） ②各道県の道庁所在地の地名と場所を地図で確認しよう。 ④秋田県、岩手県と同じ、北緯40°に位置する世界の国を10カ国挙げよう。 ⑤岩手県宮古から宮城県石巻あたりの海岸はリアス海岸だが、このような海岸地形がみられる地域で注意すべき自然災害について調べよう。	理解のしやすさ 各地方の地勢図を活用すること 世界地図を活用すること
	252	地図	修正	②「愛知県名古屋市の位置」は、愛知県の県域と名古屋市の位置がわかるように点図化した。	触覚による把握
	253	地図	削除	④「地域観察のルートマップ」は地形図からの読み取りは困難なことから、地図を削除した。	理解のしやすさ
	254	地図	削除	①「20万分の1地勢図」および②「5万分の1地形図」はともに点図での表記が困難なことから、地図を削除した。	理解のしやすさ
	254	地図	削除	地域調査の手引き③は、本来読み取りの難しい地形図に関する事なので、理解に資するよう補足説明を加えた。	理解のしやすさ
	255	地図 本文	削除 修正	③「2万5千分の1地形図」および④「1万分の1地形図」は点図表記が困難なことから削除した。また資料⑤：「名古屋市内の空中写真」と標題を変更した。（写真自体は掲載しない）写真および地形図の解説のため、文章を以下のように修正した。 「みさき：地勢図を見ると、庄内川は…流れていることがわかるね。」 「先生（男性）：周りの市町村との位置関係や市街地の広がり、主な鉄道や道路の広がりを考えるのに使うことができますね。」 「先生（女性）調べる内容によって適切な縮尺を考えながら、地図を利用します。」 「読み解こう」：実際の作業が困難なので、「考えてみよう」に変更し、また③を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	255	表	修正	⑥「縮尺による地形図上の長さ」と…」は、数直線は削除し、「1cm=250m」「1cm=500m」と表記する。	理解のしやすさ
	255	地図	補足	「読み解こう」は、地形図と対照しなくても計算ができるように表記・表現を修正した。	理解のしやすさ
	257	表	修正	調査方法をまとめた表について、点字使用者に対応した方法に表記を修正した。	理解のしやすさ
	258	グラフ	削除 修正	グラフ「名古屋市の工業従業員数と製造品出荷額等の変化」は、表から伸びる矢印を削除し、比較しやすい表とグラフで示した。	理解のしやすさ

科目	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	259	図	修正	図「名古屋友禅の生産と流通のしくみ」は、図を単純化して示した。	理解のしやすさ
	260	図 文章	削除 修正	②「1955年ごろと2014年の長者町繊維街」は図を削除した。 それに伴い、なおきのセリフを次の通り修正補足した。 「今回調べた住宅地図からわかるのは主に建物の1階部分です。2階以上の・・・（以下同じ）」 図「ミシン会社B社の関連工場の分布」は、生産と販売の箇所がわかるよう図示した。	理解のしやすさ
	261	本文	修正 補足	地域調査の手引き⑩の冒頭に、次のように補足した。「先生や友だちなどと見て、様子を説明してもらおうとよい。」	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	261	グラフ	削除 修正	④「長者町織物協同組合の加盟社数の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	262	図絵	削除	本ページのイラスト等の図絵はすべて削除した。	理解のしやすさ
	263	図絵	削除	本ページのイラスト、および「まちづくりのアイデアをまとめたイラストマップ」はすべて削除した（タイトルは残した）	理解のしやすさ
	264	図	修正	地図「名古屋市の市域の変化」は、地名をすべて削除し、時代がわかるよう点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	264	グラフ	修正	グラフ「名古屋市の年齢別人口構成の変化」は、グラフを削除し表形式で示した。	理解のしやすさ
	265	地図	修正 削除	地図「名古屋市の区部の人口増加率」は、区名の50音順にデータを数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	265	配置	説明	全体としてレポートを先に、先生のコメントをレポートの後に示した。	理解のしやすさ
	266 ～271	本文	修正	「用語解説」は、掲載を50音順に変更し点訳した。項目の最後に、原典教科書の冒頭にあるテーマ順の掲載目次リストをつけた。 なお、本編の参照ページは削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	272 ～273	表	修正	統計資料「世界の国々のあらし」は、冒頭に6地域ごとと国名を対照できる目次リストを付け、以下表の形式で国ごとに掲載した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	274 ～275	表	削除 修正	統計資料「日本の都道府県のあらし」は、原典教科書と縦横を入れ替え、項目を織り込む形で表形式で示した。項目数が多いため、274ページ、275ページと2種類の表を作成した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	276 ～279	本文	削除	巻末の索引は、削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
巻末1 巻末2 巻末3	写真	削除	「主な家畜」「おもな鉱産物」「世界の主な農産物」は、タイトルのみをリスト化して表し、写真は削除した。（12巻に掲載）	理解のしやすさ 指導者による補足	

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	巻頭 1～5	資料	修正	巻頭1～5は導入的な内容のために、1巻（+資料編1）に配置した。	理解のしやすさ
	巻頭 1・2	写真	削除 修正	写真は削除し、本文に登場する順に番号を付け、見出し（時代）・言葉・人名の順に紹介した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	巻頭 3・4	写真	修正	写真などの資料に番号を付けた。	理解のしやすさ 指導者による補足
	巻頭 5	写真	修正	写真などの資料に番号を付けた。点字が文字として世間に認識されていることが、きちんと意識できるよう、あえて「点字のしくみ」も点図を用いて表現した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	6 ～7	写真	修正	写真は削除し、選びやすいように人名を並べて配置した。	理解のしやすさ
	8 ～9	年表	削除	この部分での年表は、煩雑になるため、削除した。年表の見方（読み方）については1巻（+資料編1）を使用すること。	理解のしやすさ 指導者による補足
	10	写真	修正	写真は削除し、選びやすいように人名を並べて配置した。	理解のしやすさ
	11	図	削除 修正	①の図は削除し、表として表現した。	理解のしやすさ
	11	図	削除 修正	②の図を説明するため、説明を追加した。 【畳は、長い方の辺が6尺（約180cm）、短い方の辺が3尺（約90cm）で「畳1帖（1枚）」の面積は約180cm×約90cmとなります。畳2枚が正方形になるように並べるとタテ・ヨコともに一辺の長さは1.8mとなりますが、畳2帖は「1坪」とも数えます。この1坪と「面積の単位」1歩はほぼ同じ面積になります。】	理解のしやすさ 指導者による補足 （長さの「分」と広さの「歩」の読みが同じなので、注意させるなど）
	12	写真	削除	絵巻物の写真は、本文で内容が説明されているため、削除した。	指導者による補足
	14	写真	修正	④「藤原氏と皇室の系図」は削除した。系図を使用する場合は、第2章P43の系図を参照すること。	理解のしやすさ 指導者による補足
	14	写真	修正	「五穀」と「四木三草」の写真は削除し、説明も含めて読み物として一続きにまとめた。	理解のしやすさ
	15	写真	修正	「主祭殿の建物の内部」などは描かれている様子を文章で説明した。	理解のしやすさ 指導者による補足
16	写真	修正	②「ラスコーの洞窟壁画」の写真に図柄が分かるよう説明を追加した。	理解のしやすさ	
17	地図	削除 修正	⑤「人類の進化と広がり」の地図の内容を次のような文章で説明した。 【新人のひろがり：新人は、20万年前のアフリカから広がり始め、6万年前には西アジア、5万年前にはアジアのほぼ全体に広がりました。その後ヨーロッパや日本列島、オーストラリアには4万年前に、さらにシベリア地方へは3万年前に広がっています。シベリア地方から北アメリカ大陸、南アメリカ大陸へと、約1万5000年前～1万2000年前には広がったと考えられています。】	理解のしやすさ	

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	17	写真	修正	⑥「約6000年前に造られた土器」の写真に図柄が分かるよう説明を追加した。	理解のしやすさ
	18	写真	修正	①「死後の世界の案内所とされる…」の写真に象形文字に関する説明を追加した。	理解のしやすさ
	18	写真	修正	②「古代エジプトの農業」の写真に図柄が分かるよう説明を追加した。	理解のしやすさ
	19	地図	削除	④「オリエントで古代文明がおこったところ」は削除、より詳しいP20④「古代文明がおこった地域」の地図と統合した。	理解のしやすさ
	20	写真	修正	①「甲骨文字が刻まれた牛の骨」の甲骨文字を点図で表現した。	触覚による把握 指導者による補足 (漢字の知識など)
	20	写真	修正	②「殷の時代の青銅器の写真に形が分かるよう説明を追加した。	理解のしやすさ
	20	地図	修正	④「古代文明がおこった地域」は内容の似ているP19④の地図と統合し、簡略化して点図で表現した。	触覚による把握
	22	写真	修正	②「竜門の石窟」の写真に石窟に関する説明を追加した。	理解のしやすさ
	23	写真	修正	④「万里の長城」の写真に説明を追加した。	理解のしやすさ
	23	地図	修正	⑤「5世紀ごろの東アジア」は地図を簡略化し、点図で表現した。その際確認しにくいと考えられる朝鮮半島の部分を別の点図で拡大して表現した。	触覚による把握
	23	地図	修正	「2世紀ごろの世界」の地図を簡略化し、点図で表現し、1巻・資料編1に掲載した。	触覚による把握
	24	地図	修正	①「氷河時代の日本列島と、大型動物」は地図を簡略化して点図で表現し、大型動物の移動経路に関する説明を追加した。	触覚による把握
	24	写真	修正	②「野尻湖の湖底から発掘された動物の化石」は写真の説明を追加した。	理解のしやすさ
	25	絵	修正	⑥「縄文時代の村の暮らしと…」は絵の内容を次のような文章で説明した。 【想像図では、むらの建物は全て竪穴住居で、6軒みられます。また人間は35人ほど描かれています。水辺に面して作られたむらを表しており、丸木船に乗って、釣りなどをして魚を捕まえている様子もみられます。捕まえた魚は、保存するために、まとめて加工しており、他にも貝を煮炊き・加工して保存食を作っている様子や、むらはずれにある森で栗などの木の実を採集している様子もみられます。森では、2～3名の大人により狩りも行われており、捕らえた鹿をむらで解体したり、毛皮を作っている様子も確認できます。むらの奥の木に囲まれた場所には、墓地(お墓)とみられる場所があります。また、中心部の広場では、子どもたちが遊んでいます。数人で土器を制作している場所や、むらはずれに貝殻や、動物の骨などを捨てている場所もあり、ここが貝塚になったと思われます。】	理解のしやすさ 指導者による補足

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	25	図	修正	⑦「人々の食べ物」は図の内容を表に修正した。	理解のしやすさ
	27	絵	修正	①「弥生時代のむらの暮らし」は絵の内容を次のような文章で説明した。 【想像図では、むらの建物は竪穴住居が4軒と高床倉庫が1軒見られます。また、図には31人程の人が描かれています。むらの周囲に張り巡らされた柵の外には田んぼが広がり、穂をつかんで石包丁で行う形の稲刈りが行われています。むらの中心部の広場では、杵とうすで脱穀している様子や、米を俵につめて、高床倉庫に保管する様子もみられます。追いかけてっこをして遊んでいる子どもたちもいます。犬や鶏が飼われています。収穫を迎えた秋の村の様子です。】	理解のしやすさ 指導者による補足
	28	写真 写す	修正	①「つくられた当時のすがたに復元された…」は古墳の形をサーモフォームを用いて立体的に表現した。	触覚による把握 指導者による補足
	29	地図	削除 修正	⑤「主な前方後円墳の分布」は、地図の内容を表に修正した。	理解のしやすさ
	29	写真	修正	⑥「古墳から出土した冠」の写真に形が類似していることが分かるように説明を追加した。	理解のしやすさ
	30 ～31	本文	修正	「郷土の歴史を探ろう①」は、9巻（資料編2）に配置した。写真などの資料に番号を付けた。	理解のしやすさ
	32	図	修正	①「長安城」の見取り図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	33	地図	修正	「8世紀ごろの世界」の地図を簡略化し、点図で表現し、1巻（+資料編1）に掲載した。	触覚による把握
	34	地図	修正	①の地図を簡略化し、点図で表現した。その際確認しにくいと考えられる隋の大運河に関する部分を別の点図で拡大して表現した。	触覚による把握
	34	図	修正	④の系図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	35	史料	修正	「十七条の憲法（一部）」は、本文との関連が高いと考えられたので、容易に探せるように、本文の「聖徳太子と遣隋使」直後に配置した。	理解のしやすさ
	36	図	削除 修正	①「大野城と水城」の鳥瞰図は削除し、②「水城の断面図」を簡略化し、点図で表現した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	36	図	修正	③「皇室の系図」の系図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	37	地図	修正	④「7世紀の中ごろの東アジアの」地図を簡略化し、点図で表現した。その際確認しにくいと考えられる日本の様子を別の点図で拡大して表現した。	触覚による把握
37	図	修正	⑦「律令による役所のしくみ」の図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握	
38	写真	修正	①「平城京」の写真の模型では道路が「碁盤の目」状に造られていることが分かるように説明を追加した。	指導者による補足	

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	38	地図	修正	④「遣唐使船の航路」の地図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	39	写真	修正	⑥「螺鈿紫檀五絃琵琶」の写真の説明を追加した。	理解のしやすさ
	39	写真	修正	⑦「正倉院の鳥毛立女屏風と、中国西部の…」の写真の説明を追加した。	理解のしやすさ
	42	写真	削除	②「平安京」の写真について、「碁盤の目」状の街路を説明する場合はP32①「長安城」を使用すること。	指導者による補足
	42	地図	修正	②「朝廷の支配の広がり」の地図の内容を次のように年表風に記した。 「朝廷の支配の広がり」 ※城柵が設置された年代順に記す ()内は所在地の現在の地名 647年 淳足の柵 (新潟県新潟市付近) 648年 磐舟の柵 (新潟県村上市付近) 708年 出羽の柵 (山形県庄内地方) 724年 多賀城 (宮城県多賀城市) 733年 秋田城 (秋田県秋田市) 759年 雄勝城 (秋田県横手市付近) 759年 桃生城 (宮城県石巻市) 767年 伊治城 (宮城県栗原市) 802年 胆沢城 (岩手県奥州市) 803年 志波城 (岩手県盛岡市付近)	理解のしやすさ 指導者による補足
	43	図	修正	⑤「藤原氏と皇室の系図」の系図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	46	本文	修正	「資料から歴史を探ろう①」は、9巻(資料編2)に配置した。写真などの資料に番号を付けた。	理解のしやすさ
	47	本文	修正	「人物と地域から歴史を探ろう①」は、9巻(資料編2)に配置した。写真などの資料に番号を付けた。	理解のしやすさ
	48 ～49	本文	修正	「資料から歴史を探ろう②」は、9巻(資料編2)に配置した。写真などの資料に番号を付けた。	理解のしやすさ
	50 ～51	表	修正	①と②に関わる「表」を簡略化した。	理解のしやすさ
	51	地図	修正	③の地図は削除し、地名を問う質問に修正した	理解のしやすさ
	51	図	修正	⑤の図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	55	地図	修正	④「13世紀ごろの世界と、モンゴル帝国の広がり」の地図を簡略化して点図で表現し、1巻(+資料編1)に掲載した。	触覚による把握
	56	絵	修正	①「白河上皇の警護をする武官」の絵の状況に関するかずやのセリフを「武官の特徴を服装や持ち物、隊列の位置などから考えてみよう」と変更した。	理解のしやすさ

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	56	図	削除修正	②「武士団のしくみ」の図の内容を次のような文章で説明した。 【「棟梁」と呼ばれる武士団全体のリーダーに、各一族のリーダーである「惣領」たちが従っています。惣領が率いる一族の武士たちは「家子」と呼ばれ、それぞれが「郎党」という数名～数十名の武士を率えています。 ここまで説明した人々が武士と呼ばれ、全て馬にまたがって戦うのに対し、郎党などの武士に仕える人々は「下人」と呼ばれ、槍を持って歩いて戦います。彼らも、一人の武士に対して数名ずつ仕えました。】	理解のしやすさ 指導者による補足 (構造について)
	57	地図	修正	⑤「12世紀ごろの東アジア」の地図を簡略化し、点図で表現した。その際確認しにくいと考えられる日本の様子(大輪田泊など)を別の点図で拡大して表現した。	触覚による把握
	58	写真	修正	①「空から見た現在の鎌倉と…」の写真の状況に関する説明を付け加えた。	理解のしやすさ 指導者による補足
	59	図	修正	④「源氏の系図」を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	59	絵	修正	⑤「武士の館」の絵の内容を次のような文章で説明した。 【当時の武士の館は、門の上に武器を備え、門番が見はっています。別棟の厩には数頭の馬が飼われています。部屋は板張りですが、部分的に畳を敷いているところもあります。】	理解のしやすさ 指導者による補足
	60	図	修正	③「北条氏の系図と、源氏の将軍との関係」を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	61	地図	修正	④「承久の乱と、その後の動き」の地図の内容を表と略図で表現した。	理解のしやすさ
	61	図	修正	⑤「鎌倉幕府のしくみ」を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	61	史料	修正	「御成敗式目(一部の要約)」は、本文との関連が高いと考えられたので、容易に探せるように、本文の「御成敗式目の制定」直後に配置した。	理解のしやすさ
	62	絵	修正	②「踊り念仏をする一遍」の絵の状況に関する説明を付け加えた。	理解のしやすさ
	62	絵	修正	③「田植えの様子」の絵の内容を次のような文章で説明した。 【若い女性が田植えをしています。その周りで笛や太鼓を鳴らしている人がいることも描かれています。また、牛が鍬をひいて、田んぼを耕している様子も描かれています。】	理解のしやすさ 指導者による補足
	63	写真	修正	⑥「金剛力士像」の写真に、次のような説明を付け加えた。 【「仁王像」ともいわれ、「阿」と「吽」それぞれの口の形をした像があります。】	理解のしやすさ

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項												
歴史	64	本文	修正 削除	「資料から歴史を探ろう③」は、9巻（資料編2）に配置した。写真などの資料に番号を付けた。図は煩雑になるため、削除した。	理解のしやすさ												
	65	本文	修正	「中世の位置を訪ねて」は、9巻（資料編2）に配置した。写真などの資料に番号を付けた。先生と生徒の会話の中に見える（ ）には解答例を記した。	理解のしやすさ												
	66 ～67	本文	修正	「郷土の歴史を探ろう②」は、9巻（資料編2）に配置した。写真などの資料に番号を付けた。	理解のしやすさ												
	68	地図	修正	③「元軍の進路」の地図を簡略化し、点図で表現した。その際原典教科書では確認しにくいと考えられる東アジア全体の様子も別図で表現しておいた。	触覚による把握 指導者による補足												
	70	図	修正	③「足利尊氏と、足利氏の系図」の系図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握												
	71	地図	削除 修正	④「主な守護大名と、その領地」の地図の内容を次のような表に修正した。 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">＜大名＞</td> <td>＜主な領地＞</td> </tr> <tr> <td>上杉</td> <td>越後 上野</td> </tr> <tr> <td>佐竹</td> <td>常陸</td> </tr> <tr> <td>小笠原</td> <td>信濃</td> </tr> <tr> <td>武田</td> <td>甲斐</td> </tr> <tr> <td>畠山</td> <td>伊豆</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※以下略</p>	＜大名＞	＜主な領地＞	上杉	越後 上野	佐竹	常陸	小笠原	信濃	武田	甲斐	畠山	伊豆	理解のしやすさ 指導者による補足 （表では伝わらない方角や大きさ、「旧国名」の呼び名など。※旧国名については1巻・資料編1を参照）
	＜大名＞	＜主な領地＞															
	上杉	越後 上野															
	佐竹	常陸															
	小笠原	信濃															
	武田	甲斐															
	畠山	伊豆															
71	図	修正	⑤「室町幕府のしくみ」の図の内容を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握													
73	地図	修正	④「室町時代の海上交通と、倭寇の活動」の地図を簡略化し、点図で表現した。その際確認しにくいと考えられる日本の様子を別の点図で拡大して表現した。	触覚による把握													
73	図	修正 削除	⑥「勘合と、勘合貿易のしくみ」の図の内容を次のような文章で説明した。 <p>【勘合とは合い札のことですが、2枚をあわせると1つの言葉が表されるように言葉が左右に半分ずつ書かれています。日本の貿易船がもってきた「勘合符（ふだという意味）」を明側の「勘合簿（一冊の帳簿になっているもの）」に合わせて、一致すれば、正式な貿易船とみなされ貿易が認められました。】</p>	理解のしやすさ													
73	図	修正	⑦「ハンゲル」を点図で表現し、説明を付け加えた。	理解のしやすさ 触覚による把握													
75	地図	修正	③「15世紀ごろの琉球王国やアイヌ民族の交易ルート」の地図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握 指導者による補足 （外国の地名・現在の国名など）													
76	絵	修正	①「室町時代の頃の田植えの様子」の絵の内容を次のような文章で説明した。 <p>【男性が太鼓や鐘を打ち鳴らし、はやしたてる中、着飾った若い女性が稲を植えています。魚や酒、食べ物を運んでくる人たちや子どもたちも加わって、村中で田植えに取り組んでいる様子が描かれています】。</p>	理解のしやすさ 指導者による補足													

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項															
歴史	76	絵	修正	②「水のくみ上げ作業」の絵の説明に次のような文章を追加した。 【投げつるべとは、おけなどに左右2組の縄をつけて、水中に投げ入れ、2人でくみ上げる道具です。】	理解のしやすさ 指導者による補足															
	77	絵	修正	④「のこぎりをひく大工」の絵に次のような説明を追加した。 【大きなのこぎりを材木にはさんで、ふたりで引いています。】	理解のしやすさ 指導者による補足															
	79	地図	修正 削除	③「主な戦国大名と、その領地」の地図の内容を、次のような表に修正した。 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;"><大名></td> <td style="text-align: center;"><主な領地></td> </tr> <tr> <td>秋田</td> <td>羽後・羽前</td> </tr> <tr> <td>最上</td> <td>羽前</td> </tr> <tr> <td>南部</td> <td>陸中</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※以下略</p>	<大名>	<主な領地>	秋田	羽後・羽前	最上	羽前	南部	陸中	理解のしやすさ 指導者による補足 (方角や大きさ、「旧国名」の呼び名など。※旧国名については1巻・資料編1を参照)							
	<大名>	<主な領地>																		
	秋田	羽後・羽前																		
	最上	羽前																		
	南部	陸中																		
	80	写真	修正	①「鹿苑寺の金閣」と②「慈照寺の銀閣」の写真の説明を分けた。	理解のしやすさ															
	82	本文	修正	「人から歴史を探ろう②」は、9巻(資料編2)に配置した。 写真などの資料に番号を付けた。	理解のしやすさ															
	83	本文 地図	配置 修正	「地域から歴史を探ろう②」は、9巻(資料編2)に配置した。 写真などの資料に番号を付けた。 「主な一揆の発生地」の地図の内容を次のように年表風に表現した。 <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>1428</td><td>正長徳政一揆(京都府)</td></tr> <tr><td>1429</td><td>播磨国一揆(兵庫県)</td></tr> <tr><td>1441</td><td>嘉吉徳政一揆(京都府)</td></tr> <tr><td>1485</td><td>山城国一揆(京都府)</td></tr> <tr><td>1488</td><td>加賀一向一揆(石川県)</td></tr> <tr><td>1489</td><td>丹波国一揆(京都・兵庫)</td></tr> <tr><td>1563</td><td>三河一向一揆(愛知県)</td></tr> <tr><td>1570</td><td>長島一向一揆(三重県)</td></tr> </table>	1428	正長徳政一揆(京都府)	1429	播磨国一揆(兵庫県)	1441	嘉吉徳政一揆(京都府)	1485	山城国一揆(京都府)	1488	加賀一向一揆(石川県)	1489	丹波国一揆(京都・兵庫)	1563	三河一向一揆(愛知県)	1570	長島一向一揆(三重県)
1428	正長徳政一揆(京都府)																			
1429	播磨国一揆(兵庫県)																			
1441	嘉吉徳政一揆(京都府)																			
1485	山城国一揆(京都府)																			
1488	加賀一向一揆(石川県)																			
1489	丹波国一揆(京都・兵庫)																			
1563	三河一向一揆(愛知県)																			
1570	長島一向一揆(三重県)																			
84~85	表	修正	①と②に関わる「表」を簡略化した。	理解のしやすさ																
84	地図	修正	③の地図は削除し、地名を問う質問に修正した。	理解のしやすさ																
85	図	削除 修正	④の図は削除し、次のような設問に差し替えた。 4. 源頼朝がつくり上げた封建制度のしくみを、次の「用語」を使って説明しよう。 「用語」 御恩 奉公 主従関係 将軍 御家人 朝廷 天皇 貴族 寺社(荘園領主) 民衆 税	理解のしやすさ 指導者による補足 (用語の意味など)																
89	地図	修正	⑤「十字軍の派遣」の地図を簡略化し、点図で表現した。ただし原典教科書では時間経過とともに各領域の広さが変化している様子も描かれているため、点図では時期が異なる2枚(第1回十字軍の頃と第4回十字軍の頃)を見比べて理解できるようにした。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足 (外国の地名や現在の国名など)																

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	90	絵	修正	①「中世の三美神」の2枚の絵を比較しやすいよう、内容を説明する次のような文章を付け加えた。 【14世紀の絵では、三美神はみな同じ髪型・表情で身体をおおう衣を着て、平面的に描かれています。背景は描かれていません。 一方、「春」の絵では、神々や妖精たちは、美しい身体の線と生き生きした表情で描かれ、美しい模様の衣服や花や豊かな緑にまつまれた背景が描かれています。】	理解のしやすさ
	91	絵	修正	⑤「宗教改革の宣伝用に印刷された絵」の絵に関わる「読み解こう」の質問①と②の内容を次のように変更した。 【①天びんの右側には、プロテスタントが信仰の基盤としたものがかけられている。それは何だろう。 ②天びんの左側には教会の財宝や聖職者がかけられているが、天びんは右の方が重くなっている。それはどのようなことを表しているのだろう。】	理解のしやすさ 指導者による補足 (描かれている物の様子など)
	92	絵	修正	①「上陸するコロンブスの一行」の絵の内容に関わる、あすかのセリフを次のように変更した。 【「一行の後ろで十字架を立てようとしている人がいるけれど、どのような意味があるのかな。ヨーロッパの人々は…(以下略)」】	理解のしやすさ
	93	地図	修正	⑤「16世紀ごろの世界」の地図を簡略化して点図で表現し、1巻・資料編1に掲載した。	触覚による把握
	95	地図	修正 削除	⑤「キリスト教の広がり」の地図の内容のうち、「当時の教会の所在地」と「キリシタン大名とその所領」を表にまとめた。「イエズス会の学校の所在地」と「ザビエルのたどった道(推定)」は、煩雑になるため削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	96	本文	修正 削除	「世界から歴史を探ろう①」は、9巻(資料編2)に配置した。写真などの資料に番号を付けた。「16～17世紀の銀の航路」の地図は削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	97	本文	修正	「宣教師が見た日本」は、9巻(資料編2)に配置した。写真に番号を付けた。	理解のしやすさ
	98	絵	修正	①「長篠の戦い」の絵の説明に、次のように文章を追加した。 【鉄砲を装備した織田信長と徳川家康の連合軍が、騎馬隊でせめかかる武田勝頼の軍と戦っています。】	理解のしやすさ 指導者による補足
	98	写真	修正	③「安土城」の模型写真に、次のような説明を追加した。 【琵琶湖のほとりに建てられた、5層7重の天守閣を持つ豪壮な城でした。最上階は四方の壁が金色、その下の階は、朱色で塗られたガラス張りの8角形の部屋があったとされています。】	理解のしやすさ 指導者による補足

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	99	地図	削除修正	⑤「信長・秀吉の支配の広がり」の地図の内容を、次のような年表に変更した。 1. 信長に滅ぼされた主な勢力 1560年 今川氏（駿河・遠江・三河） 1571年 比叡山延暦寺 1573年 朝倉氏（越前） 1573年 浅井氏（近江） 1575年 一向一揆（加賀） 1580年 石山本願寺 1582年 武田氏（甲斐・信濃） 2. 秀吉に降伏・滅ぼされた主な勢力 1582年 明智氏（近江・丹波） 1583年 柴田氏（加賀） 1583年 毛利氏（周防・長門・安芸・備後・備中） 1585年 長宗我部氏（土佐・阿波・讃岐・伊予） 1586年 上杉氏（越後） 1586年 徳川氏（三河・遠江・駿河・甲斐・信濃） 1587年 島津氏（薩摩・大隅・日向） 1590年 北条氏（伊豆・相模・武蔵・下総・上総・上野） 1590年 伊達氏（出羽・陸奥）	理解のしやすさ 指導者による補足 （年表では伝わらない方角や大きさ、「旧国名」の呼び名など。※旧国名については1巻（+資料編1）を参照）
	100	史料	修正	「刀狩令（一部の要約）」は、本文との関連が高いと考えられたので、容易に探せるように、本文の「太閤検地と刀狩」直後に配置した。	理解のしやすさ
	101	地図	修正	⑤「日本軍の進路」の地図を簡略化し、点図で表現した。その際原典教科書では確認しにくいと考えられる東アジア全体の様子も別図で表現した。	触覚による把握 指導者による補足
	103	絵	修正	⑤「かぶき踊り」の絵の状況に関する説明を付け加えた。	
	104	史料	修正	「武家諸法度（一部の要約）」は、本文との関連が高いと考えられたので、容易に探せるよう、本文の「大名や朝廷の統制」直後に配置した。	触察による把握
	104	図	修正	③「徳川氏の系図」の系図を簡略化し、点図で表現した。	触察による把握

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項																																																																																																																								
歴史	105	地図	修正	<p>④「主な大名の配置」の地図のうち「外様大名の領地」のみを簡略化した点図で表現し、「主な大名の領地」を示した次のような表と対照するようにした。</p> <p>1. 主な親藩</p> <table border="0"> <tr><td>会津</td><td>23万石</td><td>(保科氏)</td></tr> <tr><td>高田</td><td>26万石</td><td>(松平氏)</td></tr> <tr><td>水戸</td><td>24万石</td><td>(徳川氏)</td></tr> <tr><td>甲府</td><td>25万石</td><td>(徳川氏)</td></tr> <tr><td>名古屋</td><td>62万石</td><td>(徳川氏)</td></tr> <tr><td>福井</td><td>45万石</td><td>(松平氏)</td></tr> <tr><td>和歌山</td><td>54万石</td><td>(徳川氏)</td></tr> <tr><td>松江</td><td>19万石</td><td>(松平氏)</td></tr> <tr><td>高松</td><td>12万石</td><td>(松平氏)</td></tr> </table> <p>※水戸・名古屋(尾張)・和歌山(紀伊)の徳川氏を御三家と呼ぶ。</p> <p>2. 主な譜代大名</p> <table border="0"> <tr><td>庄内</td><td>14万石</td><td>(酒井氏)</td></tr> <tr><td>村上</td><td>15万石</td><td>(松平氏)</td></tr> <tr><td>白川</td><td>10万石</td><td>(本多氏)</td></tr> <tr><td>宇都宮</td><td>11万石</td><td>(奥平氏)</td></tr> <tr><td>前橋</td><td>13万石</td><td>(酒井氏)</td></tr> <tr><td>長岡</td><td>7万石</td><td>(牧野氏)</td></tr> <tr><td>小田原</td><td>10万石</td><td>(稲葉氏)</td></tr> <tr><td>小浜</td><td>12万石</td><td>(酒井氏)</td></tr> <tr><td>彦根</td><td>30万石</td><td>(井伊氏)</td></tr> <tr><td>松山</td><td>15万石</td><td>(松平氏)</td></tr> <tr><td>小倉</td><td>15万石</td><td>(小笠原氏)</td></tr> </table> <p>3. 主な外様大名</p> <table border="0"> <tr><td>弘前</td><td>5万石</td><td>(津軽氏)</td></tr> <tr><td>盛岡</td><td>10万石</td><td>(南部氏)</td></tr> <tr><td>秋田</td><td>21万石</td><td>(佐竹氏)</td></tr> <tr><td>仙台</td><td>56万石</td><td>(伊達氏)</td></tr> <tr><td>米沢</td><td>15万石</td><td>(上杉氏)</td></tr> <tr><td>松代</td><td>10万石</td><td>(真田氏)</td></tr> <tr><td>金沢</td><td>103万石</td><td>(前田氏)</td></tr> <tr><td>安濃津</td><td>32万石</td><td>(藤堂氏)</td></tr> <tr><td>鳥取</td><td>32万石</td><td>(池田氏)</td></tr> <tr><td>岡山</td><td>32万石</td><td>(池田氏)</td></tr> <tr><td>広島</td><td>38万石</td><td>(浅野氏)</td></tr> <tr><td>萩</td><td>37万石</td><td>(毛利氏)</td></tr> <tr><td>徳島</td><td>26万石</td><td>(蜂須賀氏)</td></tr> <tr><td>高知</td><td>17万石</td><td>(山内氏)</td></tr> <tr><td>福岡</td><td>43万石</td><td>(黒田氏)</td></tr> <tr><td>対馬府中</td><td>10万石</td><td>(宗氏)</td></tr> <tr><td>佐賀</td><td>36万石</td><td>(鍋島氏)</td></tr> <tr><td>久留米</td><td>21万石</td><td>(有馬氏)</td></tr> <tr><td>熊本</td><td>54万石</td><td>(細川氏)</td></tr> <tr><td>鹿児島</td><td>73万石</td><td>(島津氏)</td></tr> </table>	会津	23万石	(保科氏)	高田	26万石	(松平氏)	水戸	24万石	(徳川氏)	甲府	25万石	(徳川氏)	名古屋	62万石	(徳川氏)	福井	45万石	(松平氏)	和歌山	54万石	(徳川氏)	松江	19万石	(松平氏)	高松	12万石	(松平氏)	庄内	14万石	(酒井氏)	村上	15万石	(松平氏)	白川	10万石	(本多氏)	宇都宮	11万石	(奥平氏)	前橋	13万石	(酒井氏)	長岡	7万石	(牧野氏)	小田原	10万石	(稲葉氏)	小浜	12万石	(酒井氏)	彦根	30万石	(井伊氏)	松山	15万石	(松平氏)	小倉	15万石	(小笠原氏)	弘前	5万石	(津軽氏)	盛岡	10万石	(南部氏)	秋田	21万石	(佐竹氏)	仙台	56万石	(伊達氏)	米沢	15万石	(上杉氏)	松代	10万石	(真田氏)	金沢	103万石	(前田氏)	安濃津	32万石	(藤堂氏)	鳥取	32万石	(池田氏)	岡山	32万石	(池田氏)	広島	38万石	(浅野氏)	萩	37万石	(毛利氏)	徳島	26万石	(蜂須賀氏)	高知	17万石	(山内氏)	福岡	43万石	(黒田氏)	対馬府中	10万石	(宗氏)	佐賀	36万石	(鍋島氏)	久留米	21万石	(有馬氏)	熊本	54万石	(細川氏)	鹿児島	73万石	(島津氏)	理解のしやすさ 指導者による 補足(表では伝わらない位置や広さや大きさ、旧国名や地名など)
会津	23万石	(保科氏)																																																																																																																											
高田	26万石	(松平氏)																																																																																																																											
水戸	24万石	(徳川氏)																																																																																																																											
甲府	25万石	(徳川氏)																																																																																																																											
名古屋	62万石	(徳川氏)																																																																																																																											
福井	45万石	(松平氏)																																																																																																																											
和歌山	54万石	(徳川氏)																																																																																																																											
松江	19万石	(松平氏)																																																																																																																											
高松	12万石	(松平氏)																																																																																																																											
庄内	14万石	(酒井氏)																																																																																																																											
村上	15万石	(松平氏)																																																																																																																											
白川	10万石	(本多氏)																																																																																																																											
宇都宮	11万石	(奥平氏)																																																																																																																											
前橋	13万石	(酒井氏)																																																																																																																											
長岡	7万石	(牧野氏)																																																																																																																											
小田原	10万石	(稲葉氏)																																																																																																																											
小浜	12万石	(酒井氏)																																																																																																																											
彦根	30万石	(井伊氏)																																																																																																																											
松山	15万石	(松平氏)																																																																																																																											
小倉	15万石	(小笠原氏)																																																																																																																											
弘前	5万石	(津軽氏)																																																																																																																											
盛岡	10万石	(南部氏)																																																																																																																											
秋田	21万石	(佐竹氏)																																																																																																																											
仙台	56万石	(伊達氏)																																																																																																																											
米沢	15万石	(上杉氏)																																																																																																																											
松代	10万石	(真田氏)																																																																																																																											
金沢	103万石	(前田氏)																																																																																																																											
安濃津	32万石	(藤堂氏)																																																																																																																											
鳥取	32万石	(池田氏)																																																																																																																											
岡山	32万石	(池田氏)																																																																																																																											
広島	38万石	(浅野氏)																																																																																																																											
萩	37万石	(毛利氏)																																																																																																																											
徳島	26万石	(蜂須賀氏)																																																																																																																											
高知	17万石	(山内氏)																																																																																																																											
福岡	43万石	(黒田氏)																																																																																																																											
対馬府中	10万石	(宗氏)																																																																																																																											
佐賀	36万石	(鍋島氏)																																																																																																																											
久留米	21万石	(有馬氏)																																																																																																																											
熊本	54万石	(細川氏)																																																																																																																											
鹿児島	73万石	(島津氏)																																																																																																																											
	105	図	修正	⑤「江戸幕府のしくみ」の図を簡略化し、点図で表現した。	触察による把握																																																																																																																								

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	106～107	本文	修正	「資料から歴史を探ろう④」は、9巻（資料編2）に配置した。写真などの資料に番号を付け、円グラフは数表に修正した。「読み解こう」の①～③を次のように変更した。 ①会津藩の現在の県名を確かめてみよう。 ②会津から江戸までの道のりが、約250kmとして、1日におよそどのくらい歩いたのか、計算してみよう。 ③行列の中で、大名はどこにいるか考えよう。また、供の人々はどのようなものを持っているかも、考えてみよう。	理解のしやすさ指導者による補足
	108	地図	削除修正	③「朱印船の航路と日本町」の地図の内容を次のような表に修正した。 日本町の所在地 ※国名・都市名の順に記す。 （ ）内は現在の国名 トンキン（ベトナム） ツーラン トンキン（ベトナム） フェフォ カンボジア ピニャルー カンボジア プノンペン シャム（タイ） アユタヤ ルソン（フィリピン） ディラオ ルソン（フィリピン） サンミゲル	理解のしやすさ
	108	グラフ	修正	⑤「キリシタンの人数の移り変わり」のグラフの内容を次のような表に修正した。 <年> <およその人数> 1549～1560 6000 1569 20000 1571 25000 1579 130000 1581 150000 1587 200000 1592 217500 1603 300000 1614 370000	理解のしやすさ
	109	表	修正	⑦「鎖国への歩み」の表の空欄に（1）～（3）の番号を付した。	理解のしやすさ
	110	地図	修正削除	③「鎖国下の日本の窓口」の地図の内容を次のような表に修正した。 松前：蝦夷地（現在の北海道） 対馬：朝鮮（朝鮮通信使の行路上にあった） 長崎：オランダ、中国（清） 薩摩：琉球（琉球の使節の行路上にあった）	理解のしやすさ 指導者による補足 （表では伝わらない位置や広さや大きさなど）
	112	グラフ	修正	②「身分別の人口割合」のグラフの内容を表に修正した。	理解のしやすさ
	113	史料	修正	「百姓に対する法令（1643年 一部の要約）」は、本文との関連が高いと考えられたので、容易に探せるよう、本文の「村に住む人々の暮らし」直後に配置した。	理解のしやすさ 指導者による補足

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	114	絵	修正	①「江戸時代の農具の進歩」の絵の内容を説明する、次のような文章を付け加えた。 【千歯こき：数十本の細い木を横に並べ、その上に稲の束をおいて 手前に強く引く。 唐箕：上から少しずつ穀物を入れ、羽を回転させて横から風を送り、軽い籾殻などをふきとばす。実は下の箱に落ちて集められる。 からさお：長い竿の先に回転する棒を数本取り付け、豆類などを挟んで振り回す。】	理解のしやすさ
	114	図	修正	②「備中ぐわと、千歯こき」の図の内容を説明する、次のような文章を付け加えた。 【備中ぐわ：くわの刃の先が3本程度に分かれていて、尖っている。】	理解のしやすさ
	114	グラフ	修正	③「全国の耕地面積と収穫高の移り変わり」のグラフの内容を表に修正した。	理解のしやすさ
	115	絵	修正	⑥「三井家が江戸に開いた越後屋呉服店」の絵の状況に関する説明を付け加え、次のような文章に変更した。 【店の中に「現金かけ値なし」と書いた札が掛けてありますが、どのような売り方をしているのでしょうか。】	理解のしやすさ
	116 ～117	本文	配置 削除	「郷土の歴史を探ろう③」は、9巻（資料編2）に配置した。写真などの資料に番号を付け、本文で紹介されているため、地図は削除した。	理解のしやすさ
	119	絵	修正	⑧「正月を過ごす子どもたち」の絵の内容を、次のような文章で説明した。 【かるたとりをしたり、庭で羽子板遊びをしている子どもたちが描かれています。描かれている人々は、正月用の晴れ着を着ています。】	理解のしやすさ 指導者による補足
	120	グラフ	修正	②「ある農家の1年間の家計」のグラフを、次のような表に修正した。 「支出」 使用人への給料：4両 肥料代：3両 農具・飼料代：1両「収入」 年貢米以外の米を売った代金：3両 注1 使用人は男女1名ずつ 注2 肥料は主に干鰯 (鰯を干して乾燥させた後に固めて作った肥料)	理解のしやすさ 指導者による補足
	121	グラフ	修正	③「百姓一揆・打ち穀の発生数の移り変わり」のグラフを簡略化して、点図と年表で表現した。	触察による把握 指導者による補足
	122	グラフ	修正	①「18世紀前半の米価の変動」のグラフを簡略化して、点図で表現した。	触察による把握 指導者による補足
	122	史料	修正	「公事方御定書（1742年 一部の要約）」は、本文との関連が高いと考えられたので、容易に探せるよう、本文の「享保の改革と田沼の政治」直後に配置した。	理解のしやすさ

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	125	絵	修正	⑤「歌川広重の風景画と、ゴッホが描いた油絵」の絵は、P160の①の内容に関連するため、次のような説明を付け加えた。 【子どもたちはそれぞれの課題に取り組んでおり同じ部屋にいながらも別々に勉強しています。】	理解のしやすさ
	126 ～127	本文	修正	「人物から歴史を探ろう③」は、9巻（資料編2）に配置した。写真などの資料に番号を付けた。	理解のしやすさ
	128 ～129	表	修正	①と②に関わる「表」を簡略化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	128	地図	削除 修正	③の地図は削除し、地名を問う質問に修正した。	理解のしやすさ
	129	図	修正	④の図を簡略化して、点図で表現した。	理解のしやすさ
	134	史料	修正	「独立宣言（一部の要約）」は、本文との関連が高いと考えられたので、容易に探せるよう、本文「アメリカ合衆国の成立」直後に配置した。	理解のしやすさ
	134	地図	削除 修正	②「独立当時のアメリカ合衆国」の地図を削除し、P138①「アメリカ合衆国の領土拡大」の地図と統合した。	指導者による補足
	135	史料	修正	「人権宣言（一部の要約）」は、本文との関連が高いと考えられたので、容易に探せるよう、本文の「フランス革命」直後に配置した。	理解のしやすさ
	135	絵	修正	④「フランス革命前の社会と、革命が目ざす社会を描いた風刺画」の絵の内容を説明するため、次のような文章を付け加えた。 【革命前の社会を風刺している絵は、1人の人物が大きな石の下敷きになり、その石の上に2人の人物が乗っています。革命が目指す社会の風刺画では、3人の人物がともに大きな石を抱えて運んでいます。】	理解のしやすさ
	136	絵	修正	⑤「イギリス炭鉱で働く子どもたち」の絵の内容を説明する文章を付け加えた。 【炭鉱とは、石炭を掘り出すための鉱山のことで、地面の下に、坑道と呼ばれるトンネルを掘り進めながら、石炭を採掘していきます。ただし、その坑道はとても狭く、子ども一人が腹ばいになって、やっと通れるくらいの広さしかありません。狭く、真っ暗な坑道の中、何人もの子どもたちが、かごを背負ったり、重い荷車を押したり引いたりしつつ、石炭を運んでいる様子が描かれています。彼らには、ランプのうす明かりだけが頼りで、全身土まみれになりつつ、石炭を集めて回ります。 石炭がある程度集まると、たて穴（地面と垂直方向に掘られた縦の穴）と滑車を使って、地上に運び出していきます。地下での重労働を終え、他の人と交代する子どもたちは、そのついでに、石炭と一緒に運び出されます彼らが一本のロープに必死につかまって、何とか地上に戻っていく様子も描かれています。】	理解のしやすさ

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	137	グラフ	修正	⑤「繊維工場で働く子どもたちの一日」のグラフを表に修正した。	理解のしやすさ
	138	地図	修正	①「アメリカ合衆国の領土拡大」の地図はP134 ②「独立当時のアメリカ合衆国」の地図と統合し、簡略化して点図で表現した。	触察による把握
	139	地図	修正	④「19世紀の中ごろのヨーロッパ」の地図は簡略化し、点図で表現した。	触察による把握
	140	グラフ	修正	③「イギリスとインドの綿織物の輸出額の移り変わり」のグラフを簡略化し、点図で表現した。	触察による把握
	141	地図	削除修正	④「19世紀の中ごろのアジア」の地図を次のような年表に修正した。 ※年→支配国→侵略された地域（現在の国名）の順で記す。 1765 イギリス インドの北東部 1790 イギリス インドの南部 1814 イギリス セイロン島（スリランカ） 1817 イギリス インドの中央部 1830 オランダ ジャワ島（インドネシア） 1849 イギリス インドの北西部 1858 イギリス ムガル帝国を滅ぼし、インド全体を支配 1862 フランス ベトナム南部（ベトナム） 1863 フランス カンボジア 1867 イギリス マレー半島（マレーシアやシンガポール） 1873 オランダ スマトラ島（インドネシア） 1884 フランス ベトナム北部（ベトナム） 1886 イギリス ビルマ（ミャンマー）	理解のしやすさ 指導者による補足 （場所や地域名・国名など）
	141	図	修正	⑥「イギリス・インド・清の貿易関係の変化」の図を簡略化し、点図で表現した。その際、「銀」の流通量の変化が理解できるよう、線の太さを工夫している。	理解のしやすさ 指導者による補足 （図の見方など）
	142	地図	削除修正	①「幕末の北方探検」の地図は次のような表に修正した。 1 伊能忠敬 1800年 松前―厚岸 2 近藤重蔵 1789年～(99年) 厚岸―国後―択捉 3 近藤重蔵 1807年 松前―宗谷 4 間宮林蔵 1808年～(09年) 宋谷―樺太―(間宮海峡)―シベリア	理解のしやすさ

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	142	地図	削除修正	④「日本への外国船の接近」の地図は次のような表に修正した。 1. 北海道 1792年 ロシアのラックスマンが根室に来航 1796年 イギリス船が室蘭の沿岸を測量 1811年 国後島を測量中のロシア人を逮捕 2. 浦賀（神奈川県） 1817年 イギリス船が来航 1837年 アメリカ船が来航 1853年 アメリカのペリーが来航 3. 長崎 1804年 1853年 ロシアの使節が来航 1808年 イギリスの軍艦が侵入 1844年 オランダの使節が来航 4. 琉球（沖縄） 1816年 1845年 イギリス船が来航 1844年 フランス船が来航 1853年 アメリカのペリーが来航	理解のしやすさ
	142	絵	修正	⑤「工場制手工業による綿織物業」の内容を説明する次の文章を付け加えた。 【効率よく布を生産できるように、たくさんの人が集まり、分業して仕事をするようになった。糸をそろえる道具を一人で、布を織ることは複数の人で行っている。】	理解のしやすさ
	145	地図	削除修正	④「ペリー艦隊の航路」の「正距方位図法」の地図は点図で表しても理解しにくいいため、内容を説明するために、次のような文章に改め、さらに日本近海の部分も別の文章にまとめた。 【ペリー艦隊は、1852年11月24日、北アメリカのノーフォークを出発し、大西洋のマデイラ島、セントヘレナ島を回り、南アフリカのケープタウンに1853年1月24日に到着しました。それから、インド洋のモーリシャス島、セイロン島を回り、東南アジアのシンガポールに1853年3月25日に到着し、中国の香港、上海により日本に向かいました。 日本の航路：上海から那覇には、1853年5月26日、小笠原諸島には1853年6月14日、浦賀には1853年7月8日に到着し、北海道の函館には1854年7月8日に到着しました。】	理解のしやすさ 指導者による補足 (正距方位図法について)
	145	グラフ	修正	⑥「開国をめぐる大名の意見」のグラフを表に修正した。	触察による把握
	146	グラフ	修正	②「輸出品・輸入品の割合」のグラフを表に修正した。	理解のしやすさ
	146	グラフ	修正	③「開国後の物価の移り変わり」のグラフを簡略化し、点図で表現した。	触察による把握
	149	絵	修正	③「『ええじゃないか』を描いた絵馬」に関する「読み解こう」では、絵の内容を想像できるよう、質問内容を次のように修正した。 【質問1：空から降っているお札やお金には民衆のどんな思いや願いが込められているのだろう。】	理解のしやすさ 指導者による補足 (絵馬とはどのようなものか等)
	150 ～151	本文	修正	「人物から歴史を探ろう④」は、9巻（資料編2）に配置した。写真などの資料に番号を付けた。	理解のしやすさ

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	152 ～153	表	修正	①と②に関わる「表」を簡略化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	152	地図	修正	③の地図は削除し、地名を問う質問に修正した	理解のしやすさ
	153	図	修正	④の図を簡略化して、点図で表現した。	理解のしやすさ
	155	絵	追加	扉絵の「内国勸業博覧会の機械館」の内容を説明する、次のような文章を付け加えた。 【蒸気を動力とする製糸機械のデモンストラーションの様子が描かれています。この製糸機械では、1度に5から11本の糸を紡ぐことができます。和装の女性5人が繭から糸をくりだす作業をしています。1人が機械のハンドルを回して機械を動かしています。】	理解のしやすさ
	156	地図	削除 修正	②「戊辰戦争」の地図を次のような年表に修正した。 1868年1月 鳥羽・伏見（京都）の戦い 1868年3月 江戸無血開城 1868年6月 長岡（新潟県）戦争 1868年6月 会津戦争 1868年12月 函館戦争 1869年5月 宮古沖海戦	理解のしやすさ 指導者による補足 （具体的な地域や場所など）
	157	史料	修正	「五箇条の御誓文」は、本文との関連が高いと考えられたので、容易に探せるよう、本文の「新政府の発端」直後に配置した。	理解のしやすさ
	158	図	修正	①「明治政府のしくみと正院の政治家」の図は簡略化し、点図で表現した。	触察による把握
	159	地図	削除 修正	③「廃藩置県」の地図は表に修正した。	理解のしやすさ
	159	絵	修正	⑤「天地の秤にかけて人民に上下の別なき図」の絵の内容を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【さまざまな身分や職業の人が、順番に天びんばかりに乗っている様子が描かれています。】	理解のしやすさ
	159	グラフ	修正	⑥「人口の割合」のグラフは表に修正した。	理解のしやすさ
	160	絵	追加	①「明治時代の小学校の授業」の絵の内容を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【和服に日本髪の子供が長椅子に腰かけ、洋服に革靴、断髪姿の教師が前に立ち、掛け図に書かれている問題を棒でさして算数の授業を行っている様子が描かれています。】	理解のしやすさ 指導者による補足 （掛け図の内容など）
	161	写真	修正	④「地券」の写真から読みとれる情報として、記されている内容をそのまま紹介した。	理解のしやすさ
	161	グラフ	修正	⑥「政府の収入と、収入に占める地租の割合」のグラフは表に修正した。	理解のしやすさ
163	写真	修正	⑤「福沢諭吉『学問のすゝめ』」の写真から読みとれる情報として、写っている文章をそのまま紹介した。	指導者による補足 （有名な冒頭部分である等を紹介）	
164	写真	修正	①「岩倉使節団の中心になった人々」の写真の説明に写っている人物の名前と年齢等の説明を付け加えた。	理解のしやすさ	

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	165	地図	削除 修正	④「岩倉使節団のコース」の「正距方位図法」の地図は点図でも理解しにくいいため、内容を説明する文章に修正した。 【およそ1年9か月をかけて、欧米の12か国を回りました。 横浜(日本、1871. 12. 23出発)→サンフランシスコ(アメリカ)→ワシントン(アメリカ)→ボストン(アメリカ、1872. 8. 6)→ロンドン(イギリス)→(フランス)→(ベルギー)→(オランダ)→(ドイツ)→(ロシア)→(デンマーク)→(スウェーデン)→(イタリア)→(オーストリア=ハンガリー)→(スイス)→マルセイユ(フランス、1873年. 7. 20発)→シンガポール(1873. 8. 18着)→香港(中国)→上海(中国)→長崎→横浜(1873. 9. 13帰着)】	理解のしやすさ 指導者による補足 (具体的な国や地域など)
	165	地図	削除	⑤「日本の外交と領土の歩み」の地図は煩雑になるため削除した。	理解のしやすさ
	166	絵	修正	①「自由民権運動の演説会の様子」の絵の内容を想像できるよう、「読み解こう」の質問内容を次のように修正した。 【質問2：警官はなぜ弁士の発言を止めようとしているのだろう。また、聴衆はどんなことを言っているのだろう。】	理解のしやすさ
	167	地図	削除 修正	④「主な土族の反乱と、自由民権運動の広がり」の地図は文章での説明に改め、次のように、「主な土族の反乱」「主な激化事件」「その他」といった項目別の年表を付け加えた。 当時の府県数の39のうち、24府県が1880年4月国会開設の誓願に参加した。 <主な土族の反乱> 1874年 佐賀の乱 1876年 萩の乱(山口県) 1876年 秋月の乱(福岡県) 1876年 神風連の乱(熊本県) 1877年 西南戦争(鹿児島県) ※例示は以上	理解のしやすさ 指導者による補足 (県や地域・場所についてなど)
	168 ~169	史料	修正	「大日本帝国憲法(一部)」と「教育勅語(部分要約)」は、本文との関連が高いと考えられたので、容易に探せるよう、本文「大日本帝国憲法の発布」直後に配置した。	理解のしやすさ
	168	絵	修正	③「議員選挙の風刺画」は状況を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【威張っている投票立会人とサーベルをつけた警察官に見られながら、紋付き袴を着た一人の男性が投票しています。その後ろには、選挙権のない普通の着物姿の、多くの男性たちが選挙をしている人を見えています。そこにも警察官が立って見えています。】	理解のしやすさ 指導者による補足 (サーベル、紋付き袴を着ていることの意味など)
	169	図	修正	④「憲法下の国家のしくみ」の図は簡略化し、点図で表現した。	触察による把握

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	170	本文	修正	「人物から歴史を探ろう⑤」は、9巻（資料編2）に配置した。写真などの資料に番号を付け、次のような説明を加えた。 【鹿鳴館で行われたバザーを描いた錦絵：西洋風のドレスに身を包んだ日本の「貴婦人」たちが大勢参加しています。 津田梅子の肖像写真と、1923年ごろの女子英学塾：写真の津田梅子は留学時に撮影したもので、アメリカの大学の学位帽（学問を修めた者だけに許される帽子）を着けた姿です。】	理解のしやすさ
	171	本文	修正	「地域から歴史を探ろう④」は、9巻（資料編2）に配置した。写真などの資料に番号を付け、次のような説明を加えた。 【幸恵が金田一のもとに送ったノート：ノートの左側に、アイヌ語の物語などがアルファベットを用いて記され、右側にはそのアイヌ語を訳した文章が日本語で記されています。】	理解のしやすさ
	172	地図	修正	①「列強による世界分割」の地図は簡略化し、点図で表現し、1巻（+資料編1）に掲載した。ただし、点字の地図では図法を頻繁に変更することは望ましくないので、原典教科書とは異なるが、ヨーロッパを中心に置く図法で表現している（世界地図の図法は全て同一）。	触察による把握
	174	絵	修正	①「東アジアの国際関係を描いた風刺画」は状況を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【川を挟んで、右側にちょんまげ姿の武士が、右側にチャイナ帽をかぶった男がそれぞれ座り、川の中にある魚を狙って釣りをしています。魚には「COREE」の文字がかかれています。川の遠くにある橋の上からは、別の男が2人の釣りの様子をうかがっています。この男がかぶっている帽子には「RUSSIE」と書かれています。】	理解のしやすさ 指導者による補足 (フランス語のつづりについてなど)
	175	地図	修正	④「日清戦争」の地図は簡略化し、点図で表現した。	触察による把握
	175	グラフ	修正	⑥「賠償金の使い道」のグラフは表に修正した。	理解のしやすさ
	176	地図	修正	①「列強の中国侵略」の地図は簡略化し、点図で表現した。	触察による把握
	176	絵	修正	①「列強の中国侵略の様子を描いた風刺画」の状況を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【イギリス、ドイツ、ロシア、フランス、日本をそれぞれ表す人物が書かれていて、食卓に置かれたパイの分け方を考えています。パイには「CHINE」と書かれています。】	理解のしやすさ
	176	写真	追加	②「義和団事件に出兵した各国の兵士たち」の写真の兵士たちの出身国を付け加えた。	理解のしやすさ
	176	グラフ	修正	③「義和団事件に出兵した軍隊の国別の割合」のグラフは表に修正した。	理解のしやすさ
	177	絵	修正	⑤「国際関係を風刺した地図」の風刺画の状況を説明する文章を付け加えた	理解のしやすさ

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	177	絵	修正	⑥「日英同盟の風刺画」の状況を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【ロシアは栗（韓国のこと）を火で煎っています。日本はサーベルに手をかけて、一步を踏み出そうとしています。イギリスはその日本の後ろに立ち、ロシアを指さしています。アメリカはイギリスや日本の動きを、後ろから眺めています。】	理解のしやすさ
	177	写真	修正	⑦「日英同盟を記念して発行された絵はがき」の内容を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	179	地図	修正	④「日露戦争での日本軍の進路」の地図は簡略化し、点図で表現した。	触察による把握
	179	グラフ	修正	⑤「日清・日露戦争の比較」のグラフは表に修正した。	理解のしやすさ
	181	地図	修正	④「辛亥革命のころの東アジア」の地図は点図で表現した。	触察による把握
	182	本文	修正	「世界から歴史を探ろう②」は、9巻（資料編2）に配置した。写真などの資料に番号を付け、ポスターに書かれている内容を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	183	本文	修正	「資料から歴史を探ろう⑤」は、9巻（資料編2）に配置した。写真などの資料に番号を付け、人口のグラフを表に修正した。	理解のしやすさ
	184	グラフ	修正	②「工業の生産量の移り変わり」のグラフは簡略化し、点図で表現した。	触察による把握
	184	グラフ	修正	③「日清戦争後の輸出品・輸入品の割合」のグラフは表に修正した。	理解のしやすさ
	185	地図	削除修正	⑤「明治時代の主な工場と、鉄道の広がり」の地図は、1887年と1906年までに開通した鉄道の路線図のみ掲載し、工場や鉱山については表として示した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (地図を比較し鉄道網の広がりを確認)
	186	グラフ	修正	②「製糸工場で働く女工たちの1日の生活」のグラフは表に修正した。	理解のしやすさ
	186	グラフ	修正	③「全耕地に占める小作地の割合の移り変わり」のグラフは表に修正した。	触察による把握
	186	グラフ	修正	④「工場数と工場の労働者数の移り変わり」のグラフは簡略化し、点図で表現した。	触察による把握
	187	地図	削除	⑥「鉱毒の被害を受けた地域」の地図は分かりにくいため削除した。	指導者による補足
	188	グラフ	修正	④「義務教育の就学率の移り変わり」のグラフは簡略化し、点図で表現した。	理解のしやすさ
	190 ～191	表	修正	①と②に関わる「表」を簡略化した。	理解のしやすさ
	190	地図	修正	③の地図を削除し、地名等を問う問題に修正した。	指導者による補足 (国や地域の場所)
	191	図	修正	④の図を簡略化して、点図で表現した。	理解のしやすさ
	194	写真	修正	②「ざんごうで戦う兵士たち」の写真に登場する「ざんごう」を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	194	図	修正	③「ヨーロッパの列強諸国の対立と、日本との関係」の図は簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	195	絵	修正	④「バルカン半島の状況を描いた風刺画」の内容を説明する、次のような文章を付け加えた。 【「バルカンのトラブル」と書かれた巨大な鍋の中身が噴出しないように、列強各国の軍服等を着た指導者たちが、鍋の蓋に乗っかって押さえています。】	理解のしやすさ
	195	地図	修正	⑤「第一次世界大戦のころのヨーロッパ」の地図は簡略化し、点図で表現した。	理解のしやすさ
	195	写真	修正	⑥「イギリスの軍需工場で働く女性」の写真の内容を説明する文章を付け加えた。 【長さ50cmほどの先が尖った鉄の筒に、火薬を詰め込んでいる様子です。作っている物はなんでしょうか。】	理解のしやすさ
	196	写真	修正	②「兵士を募集するアメリカ海軍のポスター」の内容を説明する、次のような文章を付け加えた。 【ポスターには「I'd JOIN The NAVY」という文字が書かれています。】	理解のしやすさ 指導者による補足 (NAVYの意味など)
	197	地図	修正	⑤「第一次世界大戦中の世界」の地図は簡略化し、点図で表現し、1巻(+資料編1)に掲載した。ただし、点字の地図では図法を頻繁に変更することは望ましくないので、原典教科書とは異なりヨーロッパを中心に置く図法で表現している(世界地図の図法は全て同一)。	触覚による把握
	198	地図	修正	①「ウラジオストクを行進する日本軍と、出兵した地域」の地図は簡略化し、点図で表現した。ただし、日本とロシアの位置関係をつかみやすくするため別図も併記している。	触覚による把握
	199	グラフ	修正	④「大戦前後の貿易額の移り変わり」のグラフは簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	199	絵	修正	⑤「『成金』の風刺画」は、状況を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【男性客が帰ろうとしているが、女中が「暗くて靴が分からないわ」と言っています。男性客は百円と書かれたお札に火をつけ「どうだ。明るくなっただろう」と言っています。】	理解のしやすさ 指導者による補足 (成金の意味など)
	200	地図	削除修正	④「日本委任統治領」の地図は、委任統治領の名前が示された表に改めた。	理解のしやすさ 指導者による補足 (地域や場所)
201	地図	削除修正	⑤「第一次世界大戦後のヨーロッパ」の地図は、次のような表に修正した。旧ロシアから独立した国 フィンランド、エストニア、ラトビア、リトアニア、ポーランド旧オーストリアから独立した国 チェコスロバキア、ハンガリー、ユーコスラビア	理解のしやすさ	

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	202	地図	削除	②「朝鮮での独立運動」の地図は煩雑になるため削除した。	指導者による補足 (運動が広範な範囲で発生したこと等)
	203	写真	修正	③「五・四運動を報じる日本の新聞」の写真から読みとれる情報として、記事の「見出し」を紹介した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (排日・曹汝林など)
	205	グラフ	修正	⑤「総物価・米価と賃金の移り変わり」のグラフは簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	205	写真	修正	⑥「富山で起こった騒動を報じる新聞」の写真から読みとれる情報として、記事の「見出し」を紹介した。	理解のしやすさ
	206	グラフ	修正	③「労働争議と小作争議の発生件数」のグラフは簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	207	グラフ	修正	⑥「有権者数の移り変わり」のグラフ・表は、表に修正した。	理解のしやすさ
	208	絵	修正	①「大正・昭和初期の東京駅前の様子」の絵の情景を説明するために、次のような文章を追加した。 【赤レンガで造られた東京駅を、たくさんの人が利用しています。洋服に帽子をかぶり、ステッキを持っている男の人や、長いスカートをはいている女の人がありますが、着物姿の男の人や女の人もあります。駅周辺には自動車や列車が走り、空には飛行機や飛行船が飛んでいます。制服を着た警察官や郵便配達もいます。】	理解のしやすさ 指導者による補足 (ステッキ・飛行船など)
	209	写真	修正	⑤「大正時代に発行された雑誌」の写真から読みとれる情報として、雑誌の誌名を紹介した。	理解のしやすさ
	210 ~211	本文	修正	「郷土の歴史を探ろう④」は、9巻(資料編2)に配置した。写真などの資料に番号を付けた。また「路面電車が走っている都市」の地図は表に修正した。	理解のしやすさ
	212	グラフ	修正	④「主な国の失業率の移り変わり」のグラフは簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	213	地図	削除 修正	⑤「ブロック経済」の地図は次のような説明に修正した。 【イギリス：インド・オーストラリア・エジプト・南アフリカなどの植民地を中心としたブロック経済 フランス：北アフリカ諸国・インドシナなどの植民地を中心としたブロック経済 アメリカ：カナダ・メキシコなどのアメリカ大陸の地域経済を中心としたブロック経済 ドイツ：オーストリアやチェコスロバキアなど東ヨーロッパの国々を支配することでブロック経済圏を作ろうと構想した。 日本：朝鮮半島・台湾の植民地に加え、新たに中国の満州地方も支配することでブロック経済圏を作ろうと構想した。】	理解のしやすさ
	214	グラフ	修正	④「恐慌期の日本経済の移り変わり」のグラフは簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
215	グラフ	修正	⑥「財閥への資本の集中」のグラフは表に修正した。	理解のしやすさ	

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	215	写真	修正	⑦「張作霖の列車の爆破事件を報じる新聞」の写真から読みとれる情報として、次のように、記事の内容を説明した。 【新聞の記事には、張作霖が奉天駅の近くで、事件があったことが書かれ、爆破された列車などの写真が掲載されています。】	理解のしやすさ
	216	写真	修正	①「満州事変を報じる新聞」の写真から読みとれる情報として、記事の「見出し」を紹介した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (奉軍・満鉄など)
	217	絵	修正	⑤「『満州国』の建国ポスター」の内容を説明するために、次のような説明を追加した。 【(日・蒙・満・朝・漢の)5人の人物が仲良く肩を組んで全身していく様子を描いています。】	理解のしやすさ
	217	地図	修正	⑦「満州国の範囲」の地図を簡略化して点図で表現した。	理解のしやすさ
	217	写真	修正	⑧「国際連盟総会での勧告の可決を報じる新聞」の写真から読みとれる情報として、記事の「見出し」を紹介した。	理解のしやすさ
	218	写真	修正	①「五・一五事件を報じる新聞」の写真から読みとれる情報として、記事の「見出し」を紹介した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (帝都・逝去など)
	218	写真	修正	②「二・二六事件で、投降を呼びかけるビラ」の写真から読みとれる情報として、ビラに書かれている文章を紹介した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (逆賊・国賊など)
	218	絵	修正	④「1930年代の政治の様子を描いた風刺画」の内容を説明するために、次のような説明を追加した。 【ブーツを履いた軍部の大きな足が、「議会政治」と書かれた国会議事堂を踏みつぶそうとしています。そのブーツには軍部に抵抗しようとする1人の男や、軍部をコントロールしているつもりの方がみついています。】	理解のしやすさ 指導者による補足 (ブーツの意味など)
	219	地図	修正	⑤「日中戦争の広がり」の地図は簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	219	写真	修正	⑥「南京の占領を祝う東京の町の様子」の写真の状況を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【手に祝いの提灯をもった数多くの人々と「皇軍万歳」「祝・南京」などと書かれたプラカードがみられます。】	理解のしやすさ 指導者による補足 (「皇軍」など)
	220	写真	修正	②「プラカードを持って更新する女性たち」の写真のタイトルを「『贅沢は敵だ』というプラカードを持って行進する女性たち」に修正した。	理解のしやすさ
	220	グラフ	修正	③「国の予算に占める軍事費の割合の移り変わり」のグラフは簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握 指導者による補足 (グラフの右側にも縦軸があること)

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	221	写真	修正	⑤「衣料切符と、衣料切符の早見表」を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【早見表には、対象となる衣服がすぐに分かるよう絵で書かれおり、それぞれの衣服を手に入れるために必要な点数も明示されています。半ズボンには15点ですが、レインコートには30点、背広には50点必要など書かれています。】	理解のしやすさ 指導者による補足 (配給制など)
	221	写真	修正	⑥「奉安殿への『捧げ銃』」の写真の状況を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【奉安殿という天皇の写真を納めている建物に敬意を表すため、小学生たちが銃に見立てた木刀を持ち、「捧げ銃」という儀礼を行っています。】	理解のしやすさ 指導者による補足 (「奉安殿」など)
	223	地図	修正	⑤「第二次世界大戦中のヨーロッパ」の地図は簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	224	写真	修正	①「真珠湾攻撃を報じるハワイの新聞」の写真から読みとれる情報として、記事の「見出し」を紹介した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (「OAHU」など)
	224	グラフ	修正	③「日本の資源の輸入先の割合」のグラフは表に修正した。	理解のしやすさ
	224	図	修正	④「太平洋戦争中の国際関係」の図は簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握 指導者による補足 (「ABCD包囲網」等)
	225	地図	修正	⑤「太平洋戦争」の地図は簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	225	グラフ	修正	⑥「日本とアメリカの国力の比較」のグラフは表に修正した。	理解のしやすさ
	226	写真	修正	②「陸軍のポスター『打ちてし止まむ』」の写真から読みとれる情報として、記事の「見出し」を紹介した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (「大本営発表」等)
	227	地図	修正	⑤『空襲を受けた主な地域』の地図は表に修正した。	理解のしやすさ
	228	史料	修正	「ポツダム宣言（一部の要約）」は、本文との関連が高いと考えられたので、容易に探せるよう、本文「原爆投下と日本の降伏」直後に配置した。	理解のしやすさ
	230 ～231	本文	修正	『人物から歴史を探ろう⑥』は、9巻（資料編2）に配置した。写真などの資料に番号を付け、地図を簡略化し、点図で表現した。	理解のしやすさ
	232 ～233	表	修正	①と②に関わる「表」を簡略化した。	理解のしやすさ
	232	地図	削除 修正	③の地図を削除し、地名等を問う問題に修正した。	指導者による補足 (国や地域の場所)

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	233	写真	修正	⑤の写真の状況を説明するために、次のような文章を追加した。 【1930年ごろ：4人の女性（モダンガール）が、一列になって街を歩いている写真です。当時流行していた欧米風の服装で着飾っており、優雅にあるいています。 1940年ごろ：二人の女性が、一緒に歩いています。頭には防空頭巾をかぶり、国民服にもんぺ姿という、戦争を意識した服装で全身を固めています。】	理解のしやすさ 指導者による補足（「モガ」や「モボ」、「国民服」に「もんぺ姿」など）
	235	写真	修正	「青空教室で学ぶ子どもたち」の写真の内容が想像できるよう、次のように先生のセリフを工夫した。 【先生「青空教室とは、屋根がない外にも教室を作って勉強をしたという意味で、戦後間もない頃には本当に行われていました。空襲で校舎を焼かれた都市部の学校では、教室の不足が深刻だったからです。しかし、そこで学んでいた子どもたちの表情は、とても明るく、楽しそうでした。このような戦争の…（以下略）」】	理解のしやすさ
	237	写真	修正	⑦『満州から引き上げてきた子どもたち』の写真の内容を説明するために以下のような文章を付け加えた。 【子どもの一人は、家族の遺骨が納められていると思われる白い箱を首から下げています。】	理解のしやすさ
	238	写真	修正	①「『新しい憲法の話』」の写真から読みとれる情報として、次のように、「挿し絵」の内容を説明する文章を付け加えた。 【この写真で見ることができるページは18～19ページで、「戦争放棄」と書かれた「るつぽ」の中で軍艦や戦闘機が溶かされ、電車や客船、乗用車などに生まれかわっていくイメージのイラストが挿し絵として描かれています。】	理解のしやすさ 指導者による補足（「るつぽ」など）
	238	写真	修正	②「皇居前広場で行われた憲法公布の記念式典」の写真から読みとれる情報として、横断幕に「日本国憲法公布記念祝賀都民大会」と書かれていることも紹介した。	理解のしやすさ
	239	写真	修正	③「中学校の学級活動」の写真から読みとれる情報として、横断幕に「自治会 不良化防止について」と書かれていることも紹介した。	理解のしやすさ
	239	写真	修正	④「戦時中の教科書と、戦後の墨ぬりの教科書」の2冊の教科書の内容を説明する文章を付け加えた。 【2冊は同じ教科書ですが、戦後のものは墨が塗られて一部が消されています。墨が塗られたページのタイトルは「兵隊ごっこ」とあり、軍国主義を連想させる子どもの遊びについて書かれた部分が消されているようです。】	理解のしやすさ
	239	グラフ	修正	⑤「農地改革による変化」のグラフは表に修正した。	理解のしやすさ

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	240	地図	修正	①「東西両陣営の対立」の地図は簡略化し、点図で表現し、1巻（+資料編1）に掲載した。ただし、点字の地図では図法を頻繁に変更することは望ましくないので、原典教科書とは異なりヨーロッパを中心に置く図法で表現している（世界地図の図法は全て同一）。	触覚による把握
	241	地図	修正	⑦「年代別に見たアフリカの独立国」の地図は簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	242	写真	修正	①「北緯38度線付近にある板門店に引かれた朝鮮戦争の停戦ライン」の写真から読みとれる情報として、次のような文章を付け加えた。 【韓国の国境警備隊と、北朝鮮の兵士が、停戦ラインを示す赤い線をはさんで、現在もにらみ合いを続けています。】	理解のしやすさ
	242	地図	修正	②「朝鮮戦争」の地図は簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	243	写真	修正	③「警察予備隊の新設を報じる新聞」の写真から読みとれる情報として、新聞記事の「見出し」を紹介した。	理解のしやすさ 指導者による補足 （「マ元帥」など）
	244	写真	修正	③「沖縄と日本の本土との行き来で使用されたパスポート」の写真から読みとれる情報として、パスポートに書かれている文言を紹介した。	理解のしやすさ
	245	写真	修正	⑤「原水爆反対の署名運動」の写真から読みとれる情報として、立て看板に書かれているスローガンを紹介した。	理解のしやすさ
	246	写真	修正	①「ベトナム戦争で避難する親子」の写真の状況を説明するため、次のような文章を付け加えた。 【赤ちゃんを抱いた母親と3人の幼な子が手を取り合い、急流の川を泳ぎ渡ろうとしています。写真手前には岸辺の草木が写り込んでいるので、安全な岸辺まであとわずかだと思われます。母親をはじめ、どの人の顔も必死の表情を浮かべているのが印象的です。】	理解のしやすさ
	246	写真	修正	②「アメリカ国内で高まったベトナム反戦運動」の写真の状況を説明するため、次のような文章を付け加えた。 【数十人の兵士たちが銃を構えつつ前進しようとしています。その兵士たちに若者がたった一人で立ちむかっています。彼は、静かにほほえみを浮かべて小さな1輪の花を掲げて銃口の前に立ちふさがっているのです。】	理解のしやすさ
	246	写真	修正	③「沖縄の米軍基地から飛び立つアメリカの爆撃機」の写真の状況を説明するため、次のような文章を付け加えた。 【黒煙を吐いて飛び立つ大型の爆撃機の写真ですが、よく見ると手前に反戦運動のために押しかけたデモ隊の人々も写っています。】	理解のしやすさ

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	247	写真	修正	④「プラハの町でソ連軍の戦車を取り囲む人々」の写真の状況を説明するため、次のような文章を付け加えた。 【人々はチェコスロバキアの国旗を掲げて、大勢で取り囲んでいます。戦車を止められたソ連の兵士は、困った表情を浮かべています。】	理解のしやすさ
	249	写真	修正	⑤「沖縄で通貨として使用された、アメリカ軍発行…」の写真に、次のような説明を追加した。 【軍票とは戦争の時に軍などが発行する通貨の代用品です。1958年に（以下略）】	理解のしやすさ
	249	写真	修正	⑥「本土復帰後、銀行に並ぶ沖縄の人々」の写真の説明では分かりにくいため、次のような説明に修正した。 【行列の近くに「通貨交換所」の看板が掲げられています。人々は何と何を交換するために並んでいるのでしょうか。】	理解のしやすさ 指導者による補足 (ドルと円の違い)
	249	地図	修正	⑦「沖縄にある米軍基地」の地図を簡略化して、点図で表現した。	理解のしやすさ
	250	グラフ	修正	③「日本の国民総生産と経済成長率の移り変わり」のグラフは簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	250	写真	修正	④「1960年代の団地の部屋」の写真の状況を説明するため、次のような文章を付け加えた。 【写真では、ダイニングから居間などを撮影しており、部屋は3つほど確認できます。居間にはテレビ、ダイニングには冷蔵庫や電気炊飯器が置かれています。テーブルやイス、ソファーまで見られることから人々が腰かけて生活するようになったこともうかがえます。】	理解のしやすさ
	252 ～253	本文	修正	「郷土の歴史を探ろう⑤」は、9巻（資料編2）に配置した。班ごとに番号を付け、グラフを表にするなどの修正を行なった。	理解のしやすさ
	255	地図	修正	⑤「国際平和維持活動（PKO）の展開地域と…」の地図を表に修正した。	理解のしやすさ
	256 ～257	本文	修正	「世界から歴史を探ろう③」は、9巻（資料編2）に配置した。写真に番号を付けるなどの修正を行なった。	理解のしやすさ
	258	グラフ	修正	②「日本の地価と株価の移り変わり」のグラフは簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	262 ～263	本文	修正	「人物から歴史を探ろう⑦」は、9巻（資料編2）に配置した。写真に番号を付けるなどの修正を行なった。	理解のしやすさ
	264 ～265	表	修正	①と②に関わる「表」を簡略化した。	理解のしやすさ
	265	地図	修正	③の地図を削除し、地名等を問う問題に修正した。	指導者による補足 (国や地域の場所)
	265	グラフ	修正	⑤のグラフを表に修正した。	理解のしやすさ

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	261	索引	削除	人名、事項索引ともに削除した。	
	巻末 1	地図	削除 修正	「都道府県と昔の国の対照図」は「対照表」に修正して 1 巻・資料編 1 に掲載した。また現在の状況と比較して使用できるように、1 巻・資料編 1 には別項目として「日本の地図」も掲載されている。	理解のしやすさ 指導者による補足 (1 巻・資料編 1 の別項目には「日本の地図」も掲載しており、比較・対照できることなど)
	巻末 1	地図	削除 修正	「江戸時代の産業と交通」は地図を表に修正して資料編 1 に掲載した。また現在の状況と比較して使用できるように、1 巻・資料編 1 には別項目として「日本の地図」も掲載されている。	理解のしやすさ 指導者による補足 (1 巻・資料編 1 の別項目には「日本の地図」も掲載しており、比較・対照できることなど)
	巻末 2～3	年表	修正	「歴史年表」は、検索しやすいよう項目ごとに整理して点訳したものを 1 巻・資料編 1 に掲載した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (1 巻・資料編 1 では使用頻度の高い年表を前の方に配置していることなどの説明)
	巻末 4	写真	削除	「世界地図の歴史」の写真は削除した。	指導者による補足 (地図の見た目や雰囲気など)
	巻末 6	地図	修正	「各地の主な遺跡・史跡・できごと」は、地図では表現しにくいいため 1 主な史跡 2 主な城・砦 3 主な寺院・神社 4 主な関係地・できごと 5 主な遺跡 6 その他 上記の 6 項目に分類し、県番号順に都道府県ごとに記載した表に改め、1 巻・資料編 1 に掲載した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (調べ学習などに活用できることなどの説明)

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
公民	巻頭3	図	修正	「公民の学習のキーワードをもとにした持続可能性を妨げる主な課題（イメージ図）」の図を削除し、キーワードと文のみとした。	理解のしやすさ
	7	資料	修正	「B社の新聞」「C社の新聞」「D社の新聞」のデザインやレイアウトについて簡潔に説明した。	理解のしやすさ
	13	グラフ	修正	「震災後に強く意識するようになったこと」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	14	グラフ	修正	「日本の品目別の輸出と輸入の割合」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	15	グラフ	修正	「インターネット利用人口とインターネットにかかわる犯罪件数の推移」のグラフは、棒グラフと折れ線グラフに分けて点図化し、数表を併記した。	触覚による把握
	16	グラフ	修正	「子どもの出生数と合計特殊出生率の推移」を2つのグラフに分けて点図化し、見開きページで表した。	触覚による把握
	18	写真	追加	「収穫された遺伝子組換えのとうもろこし」の写真について、説明を追加した。	理解のしやすさ
	19	グラフ	修正	「宗教や信仰に関する事柄で日本人が信じていること」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	21	グラフ	修正	「ASEAN 7か国の人たちが日本について知りたいと思うこと」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	24	グラフ	修正	「家族がもつ役割とは」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	25	写真	追加	「身近な社会にあるさまざまなルールの表示」と「スクランブル交差点と円形交差点」の写真について、説明を追加した。	理解のしやすさ
	28	図	修正	「マンションの住民代表（6人）で構成する管理組合での話し合い：その2」は、P27にある「その1」に続けて掲載した。図については簡略化し、時系列になるように文章化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	31	4	修正	写真を見て気づいたことをまとめる課題を、なおきとみさきの会話をもとにして考える課題に変更し、なおきとみさきの説明を修正した。	理解のしやすさ
	32	図	削除	大問2の図については、P24の図の再掲であるため削除した。	指導者による補足
	38	絵	修正	「憲法の三つの基本原理」の絵の内容を文章化した。	理解のしやすさ
	40	グラフ	修正	「国の政策へ国民の意思がどの程度反映されているか」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	40	図	修正	「憲法改正の手続き」の図の内容を文章化した。	理解のしやすさ
	43	グラフ	修正	「インターネット上の子どもの有害情報対策に関する政府への要望」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
公民	44	資料	修正	新聞記事については見出しのみ記載した。 【「免田被告 再審で無罪」「死刑囚に初の救済」という見出しが書かれてあります。】	理解のしやすさ
	46	資料	修正	新聞記事については見出しのみ記載した。 【「ハンセン病控訴断念」「人間として生きられる」という見出しが書かれてあります。】	理解のしやすさ
	46	グラフ	修正	「社会全体における男女の地位の平等感」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	47	グラフ	修正	「育児休暇の取得率の男女比」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	48	資料	修正	ポスターに書かれた内容を記載した。【「部落差別をなくそう」「ころ、目覚めていますか?」「時の経過では解決できないことがあります」と書かれてあります。】	触覚による把握
	49	グラフ	修正	「日本に住む外国人が抱える人権問題について知っていること」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	53	グラフ	修正	「介護の仕事についている人の年齢構成と男女比」のグラフのうち、棒グラフは点図化して数表を併記し、円グラフは数表化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	53	グラフ	修正	「介護の仕事に就いている人の不安や悩み」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	53	グラフ	修正	「生活保護を受ける世帯数の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	56	資料	修正	「臓器提供意思表示カード」の裏面の内容を記載した。	理解のしやすさ
	57	グラフ	修正	「個人情報流出した主な理由」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	57	グラフ	修正	「インターネットによる人権侵害の事件数の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	58	図	修正	「ディベートを行うまでの準備」の図を文章化した。	理解のしやすさ
	59	グラフ	修正	「監視カメラの必要性和撮影されることに対する不安な点」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	60	グラフ	修正	「衆議院議員選挙における選挙権の拡大」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	61	グラフ	修正	「児童虐待の相談対応件数と児童福祉司数の推移」のグラフを点図化して、数表を併記した。	触覚による把握
	62	グラフ	修正	「インドの所得階層別の世帯数の割合」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	63	グラフ	修正	「出生1000人当たりの5歳未満の子どもの死亡数」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	64	グラフ	修正	「駅と電車内で迷惑だと感じる行為」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	65	グラフ	修正	「世界の地域別の中等教育(中学・高校)総就学率」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
公民	67	グラフ	修正	「防衛関係費の推移」のグラフは、棒グラフと折れ線グラフに分けて点図化し、見開きページで表した。数表を併記した。	触覚による把握
	67	グラフ	修正	「今後自衛隊が力を入れていくと良い面」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	68	地図	修正	「日本にある米軍基地」の地図は、沖縄のみ点図化し、その他は基地名と所在地のみ表した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	69	地図	修正	「自衛隊の海外での主な活動」の地図は削除し、年代順に列記した。	理解のしやすさ
	69	グラフ	修正	「あなたが思う『平和』とは」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	72	8	修正	①と②の問いについては、イラストの説明に変更し、イラストで描かれている内容を追加した。	理解のしやすさ
	74	グラフ	修正	「国の政治に国民の考え方を反映させる方法」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	76	グラフ	修正	「衆議院議員選挙の投票率の推移」のグラフを、「総平均」「20～29歳」「50～69歳」の3種のみにして点図化した。	触覚による把握
	77	図	修正	「小選挙区制と比例代表制のしくみ」の図を文章化した。	理解のしやすさ
	77	グラフ	修正	「衆議院議員一人当たりの有権者数」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	79	図	修正	「政党政治のしくみ」の図を文章化した。	理解のしやすさ
	79	グラフ	修正	「衆議院と参議院の政党別議席数」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	80	資料	修正	新聞記事については見出しのみ記載した。 【A新聞--参院委きょう採決強行 B新聞--防空圏、米中が直接協議 C新聞--首相「強行」譲らず】	理解のしやすさ
	81	資料	修正	新聞記事については見出しのみ記載した。 【「世論が後押し、全会一致」という見出しが書かれてあります。】	理解のしやすさ
	81	図	修正	「衆議院議員選挙の投票の際に役だったもの」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	85	図	修正	「衆議院の優越が適用された例」の図を文章化した。	理解のしやすさ
	85	図	削除	「本会議のルール」の図は、図の内容が文章の中で説明されているため削除した。	指導者による補足
	86	絵	修正	「2012年の衆議院議員選挙で当選した議員」の絵の内容を数表化した。	理解のしやすさ
	86	グラフ	修正	「女性国会議員比率の国際比較」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	86	グラフ	修正	「内閣と議員が提出した法律数の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
公民	87	図	修正	「衆議院議員の会期中のある一日」の図を表化した。	理解のしやすさ
	91	図	修正	「国の行政のしくみ」の図のうち、各省に所属する庁・委員会については別表に示し、その他は点図化した。	触覚による把握
	91	図	修正	「行政機関の組織図」の図を文章化した。	理解のしやすさ
	92	グラフ	修正	「公務員数の国際比較」のグラフを点図化して、数表を併記した。	触覚による把握
	93	グラフ	修正	「政府に力を入れてほしいこと」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	96	絵	修正	「刑事裁判の法廷の様子」の絵を簡略化して点図にした。	触覚による把握
	98	資料	修正	新聞記事については見出しのみ記載した。 【「無実 人生返して」「捜査間違った、ではすまぬ」という見出しが書かれてあります。】	理解のしやすさ
	100	グラフ	修正	「実施された裁判員裁判の罪名別判決人員数の割合と審理にかかった日数の割合」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	100	図	修正	「裁判員制度のしくみ」の図を文章化した。	理解のしやすさ
	101	グラフ	修正	「裁判員経験者の感想とこれから裁判に参加する人々が感じる不安」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	101	グラフ	修正	「人口10万人当たりの日本とアメリカの法曹の人数」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	104	資料	修正	新聞記事については見出しのみ記載した。 【「露國皇太子殿下狭漠の為に微傷を負ひ給ふ」という見出しが書かれてあります。】	理解のしやすさ
	106	グラフ	修正	「街づくりの観点から地方公共団体が抱える課題」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	109	グラフ	修正	「地方財政の歳入と歳出」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	109	グラフ	修正	「地方の借入金の残高とGDP比」のグラフを点図化して、数表を併記した。	触覚による把握
	109	グラフ	修正	「歳入に占める地方税の割合と地方交付税の割合の比較」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	110	資料	修正	新聞記事については見出しのみ記載した。 【「巻原発、大差で反対」という見出しが書かれてあります。】	理解のしやすさ
	111	地図	削除	「さまざまな条例」の地図を削除した。	指導者による補足
	112	地図	削除	「地域でのさまざまな取り組み」の地図を削除した。	指導者による補足
	112	グラフ	修正	「合併による市町村数の変化」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
113	図	削除	「神奈川県川崎市の『外国人市民代表者会議』のしくみ」の図を削除した。	指導者による補足	

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
公民	113	グラフ	修正	「日本で暮らす外国人数の推移」のグラフの総数を点図化し、割合については数表化した。	触覚による把握
	113	グラフ	修正	「地方自治体が強化したいと考える地域の特色」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	116	図	削除修正	大問3の図については、P105の図の再掲であるため削除し、文章による問題に修正した。	必要に応じて点図のページを参考にする とよい。
	119	図	削除修正	資料5の課題を、図を触察しながら行う課題に変更した。図が分かりやすくなるように、イラストを削除し、空欄をアルファベットに置き換えた。	理解のしやすさ 指導者による補足
	120	グラフ	修正	「家計簿をつけている人の割合」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	121	グラフ	修正	「消費の内訳の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	121	グラフ	修正	「貯蓄の内訳と主な目的」のグラフを2つに分け数表化した。	理解のしやすさ
	121	写真	削除追加	「さまざまなカード」「電子マネーの例」の写真の説明を簡潔に示した。	タイトルだけでは写真の内容を理解することが困難なため。
	123	グラフ	修正	「消費者からの相談の受付件数の推移とその内訳」を2つに分け、数表化した。	理解のしやすさ
	123	絵	削除修正	イラストの吹き出し部分を文章化した。	理解のしやすさ
	124	図	修正	「野菜や果物がわたしたちのもとに届くまで」の図中の流通関連業の部分を文章化した。	理解のしやすさ
	126	図	修正	「キャベツの月別の入荷量と平均価格の変化」を2つに分け、上段と下段にして表した。	理解のしやすさ
	126	図	修正	「洋服の価格の成り立ち」の図の洋服の絵を省略した。	触覚による把握
	127	写真	修正	「新聞の市況欄」の写真を表化して表した。	理解のしやすさ
	128	写真	削除追加	「本部側の対応を伝える新聞記事」の見出しの部分を表した。	理解のしやすさ
	129	グラフ	修正	「主な商品の生産や販売サービスの集中度」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	133	グラフ	修正	「種類別の企業数（事業所数）の割合」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	135	グラフ	修正	「製造業の事業所規模別割合」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	138	グラフ	修正	「所有者別の株式数の割合」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	139	写真	修正	「新聞の株価欄の読み方」を表化して表した。	理解のしやすさ
140	写真	修正	「商品パックのラベル」の表示に表されている部分を点訳した。	理解のしやすさ	
140	絵	修正	「商品の安全性を示す主なマーク」を点図化した。「厚生労働省許可～食品」は文字で表されていることを説明で補足した。	触覚による把握 指導者による補足	

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
公民	145	グラフ	修正	「所得格差を表すジニ係数の推移」 5カ国の推移を確認しやすいよう、縦軸を広くとった。	触覚による把握
	147	グラフ	修正	「国税と地方税の比率」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	147	グラフ	修正	「主な国の直接税と間接税の比率」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	147	グラフ	修正	「累進課税のしくみ」のグラフを数表化した。	
	148	グラフ	修正	「国の歳入と歳出」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	148	グラフ	修正	「地方税と地方交付税などの総額の推移」の「地方交付税などの総額」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	149	グラフ	修正	「国債残高と国債依存度の推移」のグラフ農地、国債残高については数表化した。	理解のしやすさ
	149	グラフ	修正	「財政投融资の使い道」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	150	グラフ	修正	「主な国の経済成長率の推移」のイギリス・世界平均をはずし、縦軸を広くとって表した。	触覚による把握 指導者による補足
	152	図	削除	大問4の図については、P127の図の再掲であるため削除した。	必要に応じて点図のページを参考にする とよい。
	154	資料	修正	「見てみよう」文章内の「働」に漢字の説明を加えた。	理解のしやすさ
	154	グラフ	修正	「なんのために働くことが大切だと思うか」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	154	グラフ	修正	「理想的な仕事とはなにか」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	156	グラフ	修正	「労働人口と非労働人口の割合」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	156	グラフ	修正	「各国の失業率の推移」のグラフを日本、アメリカ、ドイツの3カ国の折れ線グラフにした。	触覚による把握 指導者による補足
	157	グラフ	修正	「年齢階層別の失業率の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	157	グラフ	修正	「労働組合に加入する人の数と労働組合の組織率の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	158	グラフ	修正	「ワーク・シェアリング」の図を文章化した。	理解のしやすさ
	158	グラフ	修正	「正規雇用者と非正規雇用者数の推移」のグラフを2つに分け、正規雇用者数を数表化し、非正規雇用者の割合を折れ線グラフで表した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	158	グラフ	修正	「雇用の形態別の割合」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
159	グラフ	修正	「主な国の労働時間と休日数」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ	
159	グラフ	修正	「過労死と認定された人の数と認定を求めている人の数の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ	
159	グラフ	修正	「女性の労働人口の割合の国際比較」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ	

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
公民	160	写真	修正	「病院の領収書」の各項目の説明を列記して表した。	理解のしやすさ
	161	グラフ	修正	「社会保障給付費の推移」を2つのグラフに分け、見開きページで表した。	触覚による把握
	161	グラフ	修正	「社会保障費の制度別の内訳」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	161	グラフ	修正	「障がいのある人への施策として、国や地方公共団体が力を入れるべきこと」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	162	グラフ	修正	「世界の高齢化の推移」のグラフを日本、アメリカ、ドイツ、発展途上国・地域の折れ線グラフにした。	理解のしやすさ 指導者による補足
	163	グラフ	修正	「国民所得に対する社会保障費の部門別給付割合の国際比較」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	163	グラフ	修正	「国民所得に対する社会保障の国民負担率の国際比較」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	164	写真	追加	「町のなかにある案内板」の写真を削除し、【写真には「直進」「エレベーター」「電車」「タクシー」を表す絵の案内板が壁に設置されています。】の説明を追加した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	165	グラフ	修正	「NPO法人数の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	165	グラフ	修正	「NPOの主な活動分野」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	168	図	修正	「環境を守るための主な法律」の図を文章化した。	理解のしやすさ
	172	グラフ	修正	「耕作放棄地面積の推移」のグラフを2つに分け、耕作放棄地面積を数表化し、耕作放棄地率を折れ線グラフにした。	理解のしやすさ
	173	グラフ	修正	「各地方自治体が雇用対策の取り組みで重視すること」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	176	グラフ	修正	「救急車の有料化についての調査結果」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	180	図	修正	「領土・領空・領海」を表す立体的なイラストを断面図にして表現した。	触覚による把握 指導者による補足
	181	地図	修正	「日本の国土とその周辺」では、陸地を凸で表し、日本の排他的経済水域を裏点にて凹で表した。	触覚による把握
	184	グラフ	修正	「国際連合の加盟国数の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	184	グラフ	修正	「主な国の国連予算の分担率」と「国連事務局の職員数の割合」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
185	図	修正	「国際連合の主な機関」の図を、総会を中心とする主な機関を中心に表し、「その他の国連機関」、「専門機関およびその他の国連関係自治機関」は、別ページに表化して整理して表した。	触覚による把握	

科目	ページ	種別	修正事項	修正内容	参考となる事項
公民	186	地図	削除修正	「世界の主な地域統合」の地図中の「EU、APEC、ASEAN、NAFTA」の加盟国を列記し、表化した。	理解のしやすさ
	187	グラフ	修正	「日本が対外的な経済政策で重点を置いたほうが良いと思うこと」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	190	グラフ	修正	「これまでに派遣された地域と分野」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	190	グラフ	修正	「世界の主な国の核弾頭保有数」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	191	グラフ	修正	「主な国のODAの金額と贈与の比率」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	192	グラフ	修正	「NGOの活動地域の割合」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	192	グラフ	修正	「NGOが取り組む主な活動分野」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	195	地図	削除修正	「難民の出身国・地域別人数」の地図を数表化した。	理解のしやすさ
	196	グラフ	修正	「アメリカの人口構成」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	199	地図	削除修正	「一人当たりの国民総所得（GNI）」の地図を、所得額ごとに主な国名を列記して数表化した。また、「人口1万人当たりの医師の数、人口100人当たりのインターネット利用者の数」は分けて、数表化した。	理解のしやすさ
	200	地図	削除修正	「世界の飢餓状況を示すハンガーマップ」の地図を、%ごとに主な国名を列記して数表化した。	理解のしやすさ
	200	グラフ	修正	「世界人口の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	201	地図	削除修正	「日本の「仮想水」の輸入量」の地図を数表化した。	理解のしやすさ
	203	グラフ	修正	「主な先進国のエネルギー源別発電量の割合」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	204	絵	修正	「さまざまな地球環境問題」の絵を、先進国・発展途上国・海洋の問題を整理し、表化した。	指導者による補足
	204	図	修正	「地球環境問題のかかわり」の図を文章化した。	理解のしやすさ
205	グラフ	修正	「三つの観点からみた二酸化炭素の排出量」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ	
209	絵	削除	「持続可能な未来への希望」のイメージを削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足	
212	吹き出し	修正	吹き出し部分を「注1～5」として、末にまとめた。	理解のしやすさ	